

京都西山短期大学

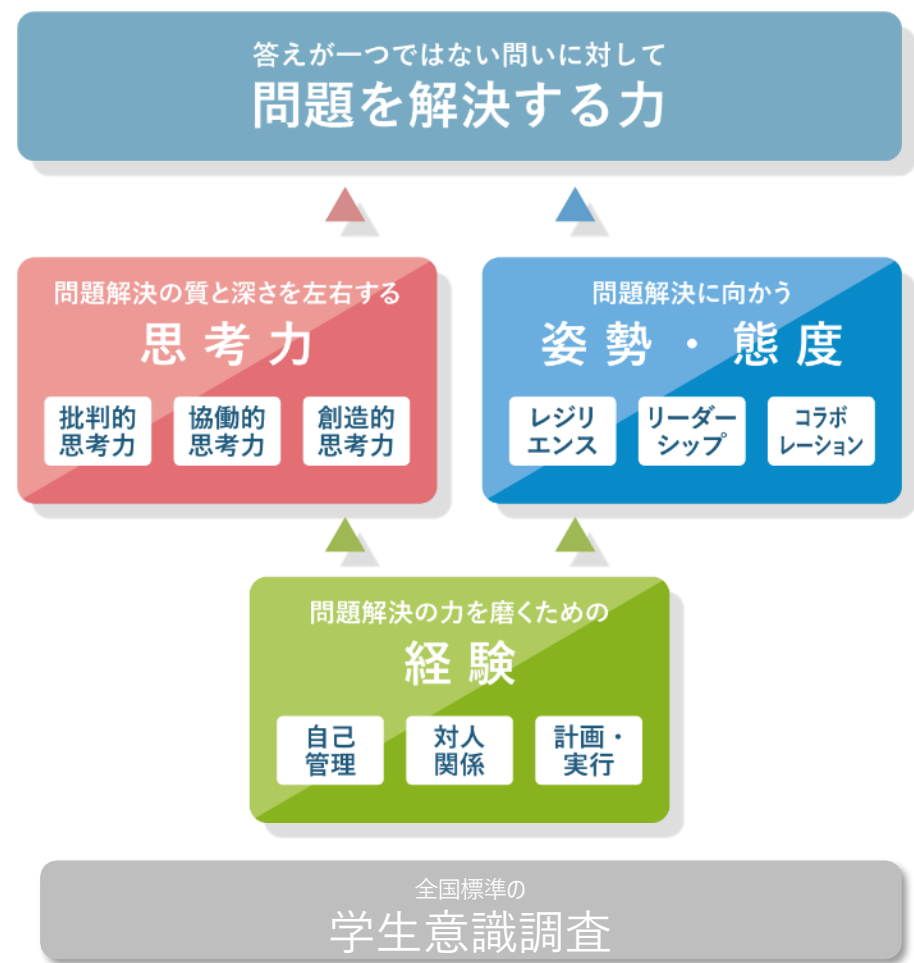
GPS - Academic 報告資料

2025年度1年生・2年生 受検結果



GPS-Academicは答えが1つではない問いに対して問題を解決する力を「思考力」「姿勢態度」「経験」の3観点で測定。高大社共通の指標として使えるよう設計しています。

※出題例は巻末、あるいは商品HPをご覧ください。



CBTの強み

現実世界に近い出題

🎥 🔊

テキスト問題だけでなく、音声問題・動画問題も出題

現実世界に近い場面を想定した出題にすることでリアルな場面での思考力を測定。

いつでも、どこでも

🕒 📍

インターネットにつながったPCがあれば、いつでもどこでも受検可能

時間・場所を問わずに実施可能。入学前、授業内、一斉授業の無い長期休みなど、各大学にとって受検に効果的なタイミングで実施可能。

即時返却

🔄 📱

受検後、即結果をリリース。次の一步に繋がしやすい

答案回収→発送→採点→発送→返却の無駄を省く。

客観評価 (スコア)	大項目	測定項目	下位項目	内容	時間	新社会人基礎力	学力の3要素
	考え抜く力 思考スキル	思考力総合 スコア	批判的思考力	情報を抽出し吟味する力	45分	考え抜く力 シンキング	思考力 判断力 表現力
			協働的思考力	他者との違い、共通点を理解する力			
			創造的思考力	情報を関連付ける力			
	他者と関わり合いながら 働く力 姿勢・態度	レジリエンス (精神的なタフさ)	ストレス耐性	感情の制御	10分	チームで働く力 チームワーク	主体性を持つ て多様な人々と 協働して学 ぶ態度
			回復力	立ち直りの早さ			
			自己統制力、柔軟性	状況に応じ冷静に対応する			
		リーダーシップ (物事に向かう前向きさ)	自主性、率先性	自ら先頭に立って進める			
			チャレンジ精神、開放性	未知の物に挑戦する			
		コラボレーション (他者への働きかけ)	持続力、誠実性、勤勉性	粘り強くやり抜く			
			共感性	相手の立場に立とうとする			
主観評価 (達成率)	前に踏み出す 経験	経験総合	自己管理	挑戦する経験	5分	前に踏み出す アクション	主体性を持つ て多様な人々と 協働して学 ぶ態度
				続ける経験			
				ストレスに対処する経験			
			対人関係	多様性を受容する経験			
				関係性を築く経験			
				議論する経験			
			計画・実行	課題を設定する経験			
				解決策を立案する経験			
				実行・検証する経験			
意識主観調査	何を学ぶか、どのように学ぶか、 どう活躍するか アンケート	学生意識調査	新入生版	大学納得度・志望度、退学検討 教育力認識、大学観 など	20分	何を学ぶか どのように学ぶか どう活躍するか	
		全国標準アンケート	在校生版	大学満足度、カリキュラム評価、 イメージ変化、授業役立ち度、など			

思考力総合スコア（0～100）**IRT（項目反応理論）処理をかけたスコア**

FTから事前にデータを収集して困難度、識別力を設定し統計的に能力値・スコアを算出

思考力分野別スコア 批判的思考力、協働的思考力、創造的思考力（0～100）**各分野の正答④から算出したスコア**

年による難易度の差を吸収するために「基準母集団における想定正答率の分布」を統計的に求め
この分布を基準として相対的にスコアを算出

※正答が0問の際にマイナススコアが出る場合あり

姿勢・態度 レジリエンス、リーダーシップ、コラボレーションスコア（0～100）**多次元IRT処理をかけたスコア**

優劣がつけがたい選択肢を並べて「良くあてはまる」「あてはまらない」を強制選択させて
反応歪曲（自分を良く見せる）を抑制
選択肢の組み合わせで特性値を定義しており多次元IRT処理でスコアを算出

経験 自己管理、対人関係、計画・実行 達成率（0～100）**「とてもよくやっていた～まるでやっていなかった」まで五件法で調査**

「とてもよくやっていた」を回答した場合を満点として、どれだけ得点できたかを達成④として表現

統計処理の前提として予備調査を複数回実施して尺度の安定性、一貫性を検証しています。
各項目の信頼係数は0.7～0.9の範囲に収まっております。

1年生結果概要

■ 受検対象・受検人数・受検割合

※「受検割合」は受検した人数（≠登録人数）の内訳を表示。

受験対象	2023		2024		2025	
	受検人数	受検割合	受検人数	受検割合	受検人数	受検割合
貴学	40	100.0%	56	100.0%	97	100.0%

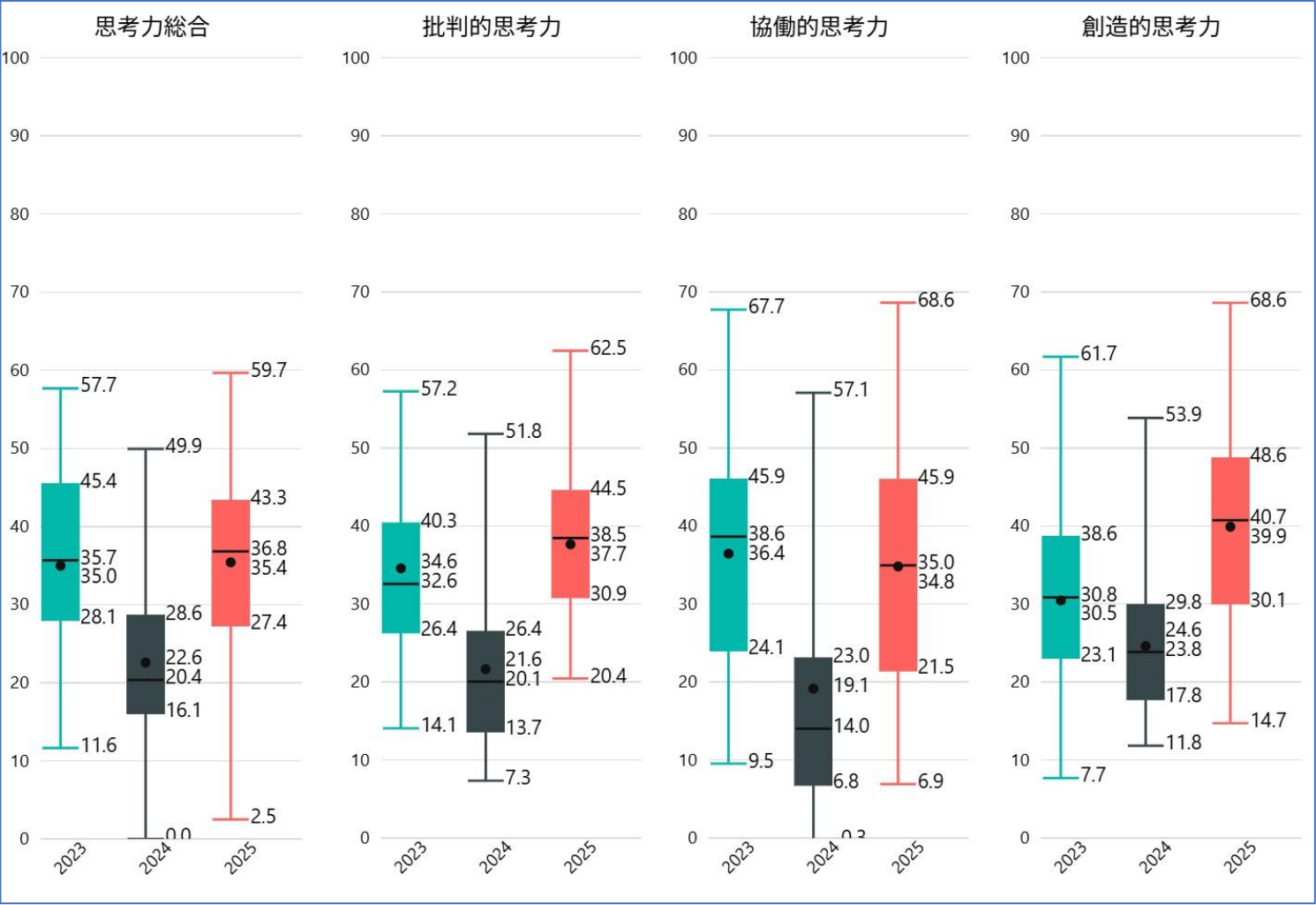
今年度は97名の新入生の方に受検いただきました。学内受検のご対応をいただき、ありがとうございました。

【受検人数内訳】
日本語版テスト：22名 英語版テスト：75名

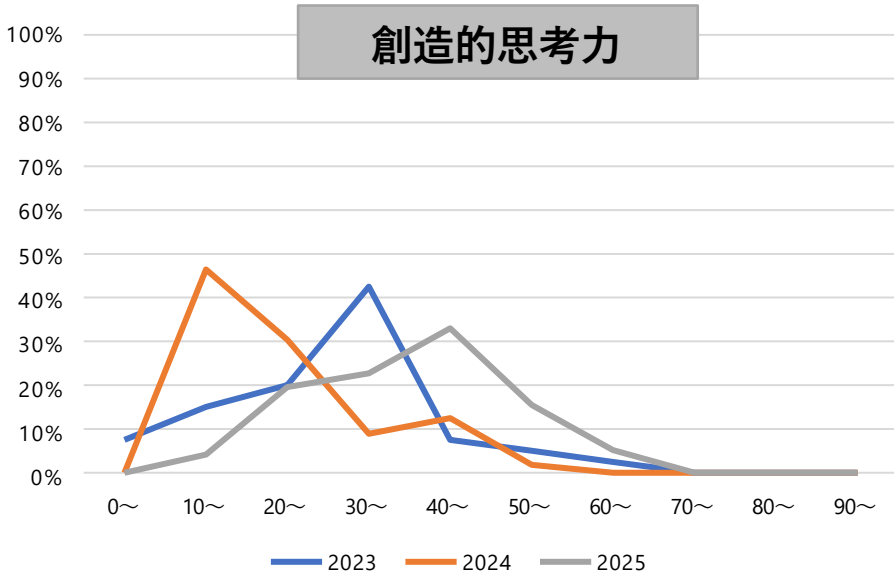
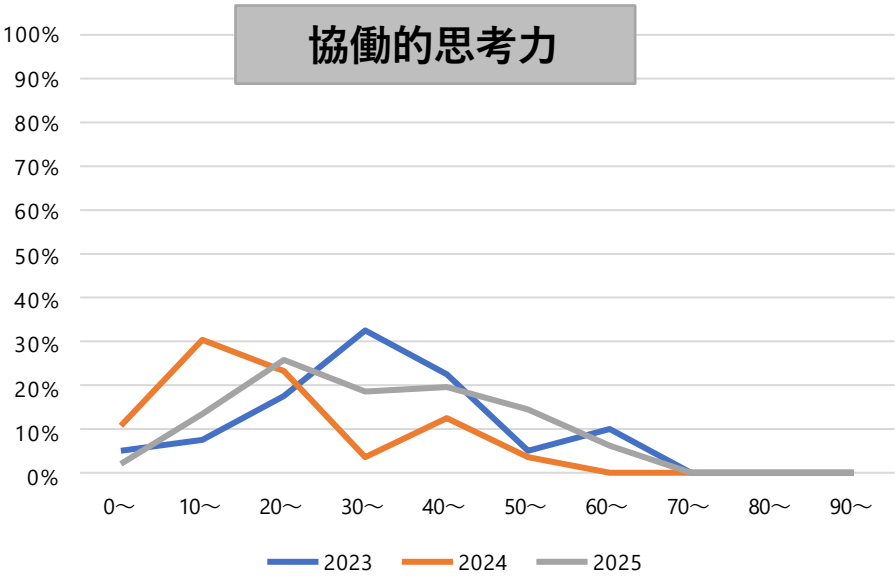
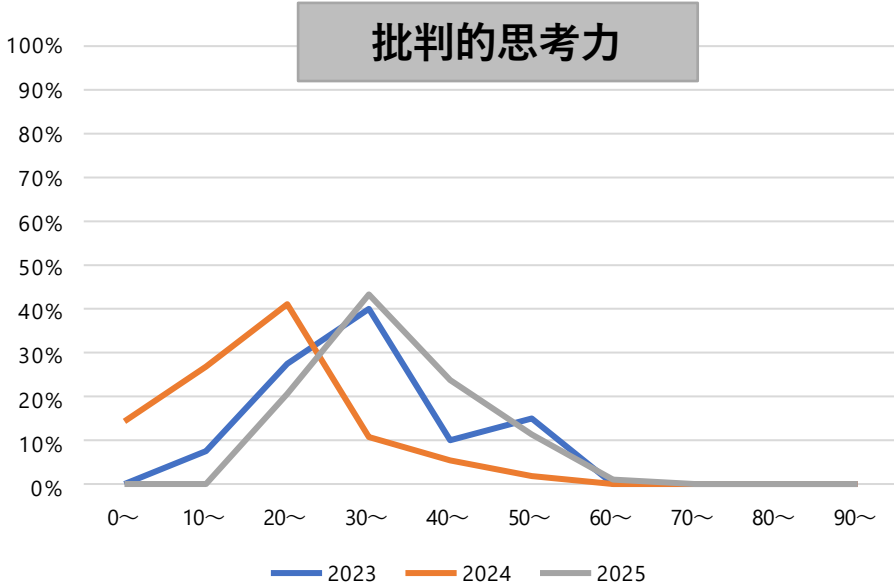
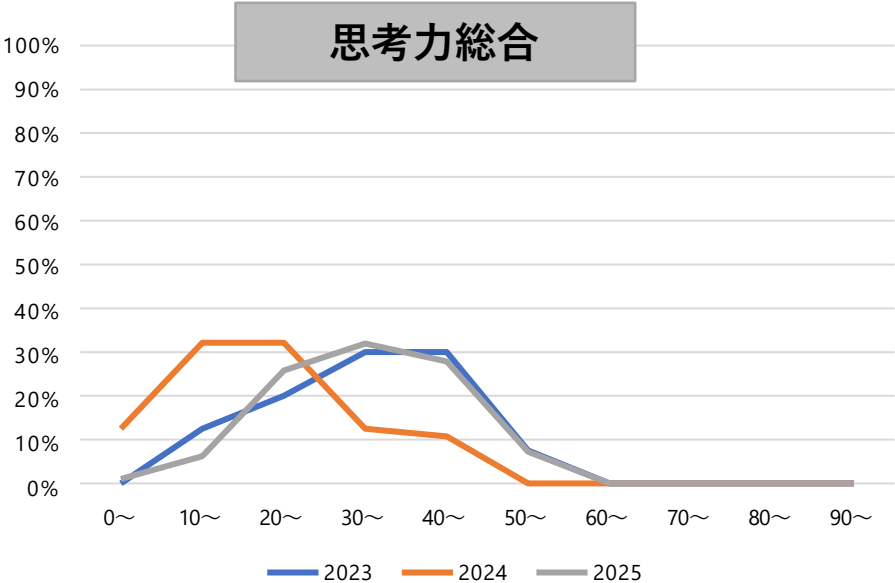
項目	サマリー
ポジティブな情報	<p>①全受検者_短期大学と貴学の平均値より見える傾向</p> <ul style="list-style-type: none">・思考力：全項目で昨年度よりマイナス差分が狭まっている。・姿勢・態度：レジリエンス、リーダーシップで平均値を4ポイント以上上回っている。・経験：全項目で全受検者_短期大学の平均値を上回っている。 <p>②学びへの意欲</p> <p>全受検者、短期大学系統、貴学前年度入学生の平均よりも意欲は高い。</p> <p>特に「失敗しそうでであっても、いろいろなことに挑戦してみたい」「高い目標を持って学ぼうと思っている」の肯定回答の割合が80%以上。</p> <p>③学びの目的、履修の考え方</p> <ul style="list-style-type: none">・学問内容や学び方1位「<u>専攻やコースなどを入学後にじっくり選ぶことができる</u>」「<u>語学教育が充実している</u>」と回答した割合が昨年度と比較して特に増えている。・「<u>DPを知っている</u>」の肯定回答の割合が昨年度よりも増加、一昨年度並みとなっている。・「<u>さまざまな学問分野を幅広く学ぶ</u>」「<u>自由に履修<体系的な学び</u>」への肯定回答の割合が昨年度と比較して増加している。 <p>④読書量、自習時間ともに全受検者平均よりも多い。</p> <p>⑤卒業後の希望進路・専門領域と希望進路との関係</p> <p>全受検者計_短期大学と比較して<u>希望進路が決まっている割合が高い。</u></p>
気になる情報	<p>★<u>楽単志向と回答した学生の割合が66%と昨年度までと比べて増加。</u></p> <p>★全受検者_短期大学と比較すると「<u>大学志望度</u>」で<u>第一志望と回答した学生の割合が低い。</u></p> <p>★「<u>他大学の再受験や退学を検討している</u>」に「<u>非常にあてはまる</u>」と回答した学生の割合が34%。</p> <p>★卒業後の希望進路・専門領域と希望進路との関係</p> <p>全受検者計_短期大学と比較して<u>希望進路を未定と回答した割合が高い。</u></p>

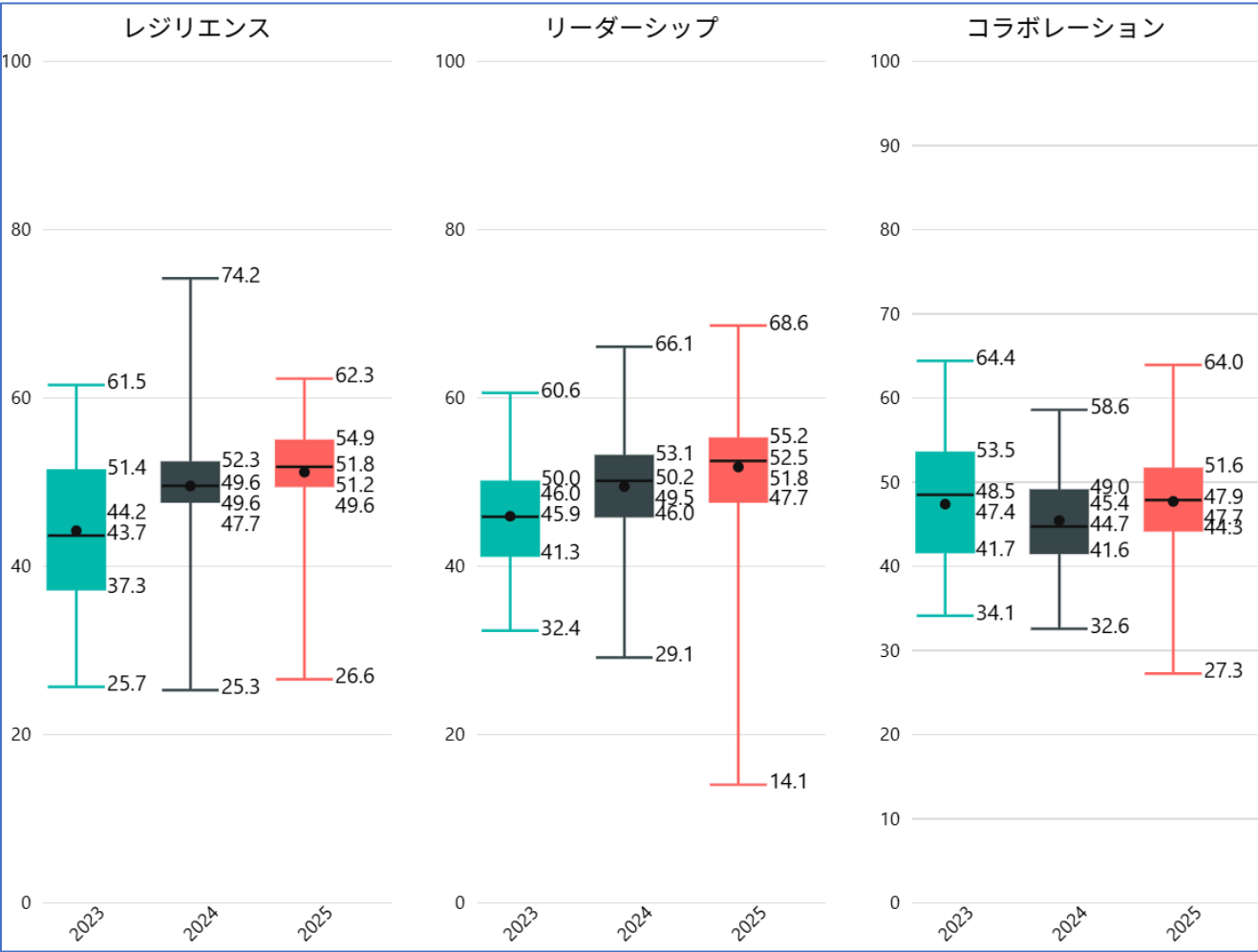
受検対象	受検年度・学年	受検者数	思考力				姿勢・態度			経験			
			思考力 総合	批判的 思考力	協働的 思考力	創造的 思考力	レジリエンス	リーダー シップ	コラボ レーション	経験総合	自己管理	対人関係	計画・実行
全受検者_短期大学	2024実施_1年		34.0	32.2	30.6	33.6	46.5	46.2	50.0	54.4	52.4	57.8	52.9
全受検者_短期大学	2025実施_1年		41.9	39.9	43.6	42.8	46.7	46.3	50.2	55.1	52.3	59.2	53.7
貴学	2024	56	22.6	21.6	19.1	24.6	49.6	49.5	45.4	54.7	52.7	55.7	55.8
貴学	2025	97	35.4	37.7	34.8	39.9	51.2	51.8	47.7	66.8	67.6	67.3	65.5
貴学2024-全受検者_短期大学2024実施_1年			-11.4	-10.6	-11.5	-9.0	+3.1	+3.3	-4.6	+0.3	+0.3	-2.1	+2.9
貴学2025-全受検者_短期大学2025実施_1年			-6.5	-2.2	-8.8	-2.9	+4.5	+5.5	-2.5	+11.7	+15.3	+8.1	+11.8

- 思考力：全項目で昨年度より全受検者_短期大学の平均値とのマイナス差分が狭まっている。
特に批判的思考力は8.4ポイント、創造的思考力は6.1ポイント、差分が狭まっている。
- 姿勢・態度：レジリエンス・リーダーシップで全受検者_短期大学の平均値を上回り、そのプラス差分は昨年度よりも広がっている。また、コラボレーションについては全受検者_平均値を下回っているが、そのマイナス差分は昨年度よりも狭まっている。
- 経験：全項目で全受検者_短期大学の平均値を上回っている。
特に自己管理について、全受検者_短期大学の平均値との差が大きい。

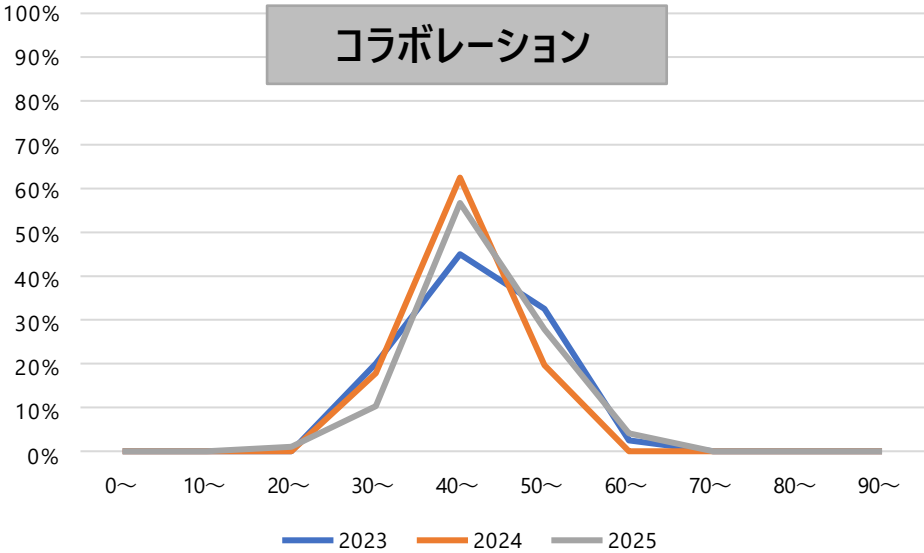
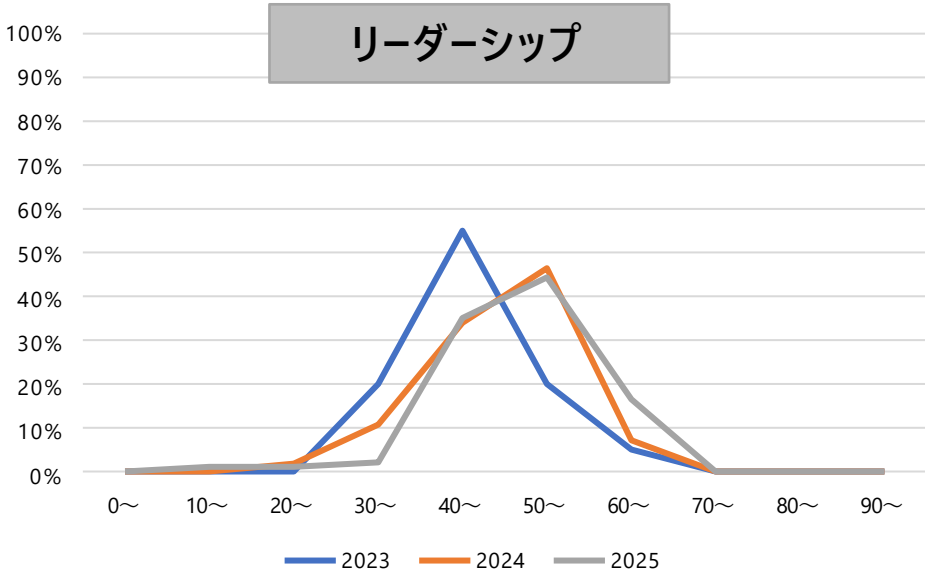
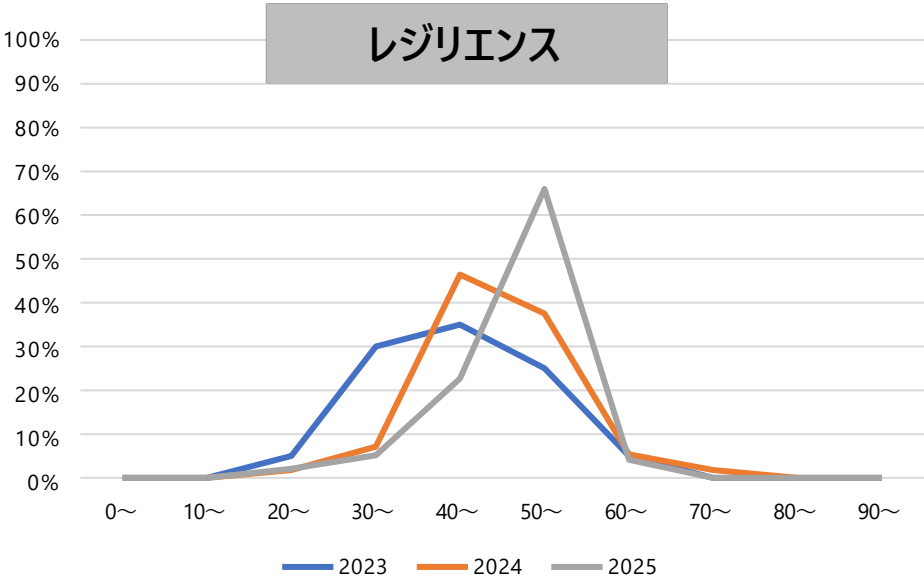


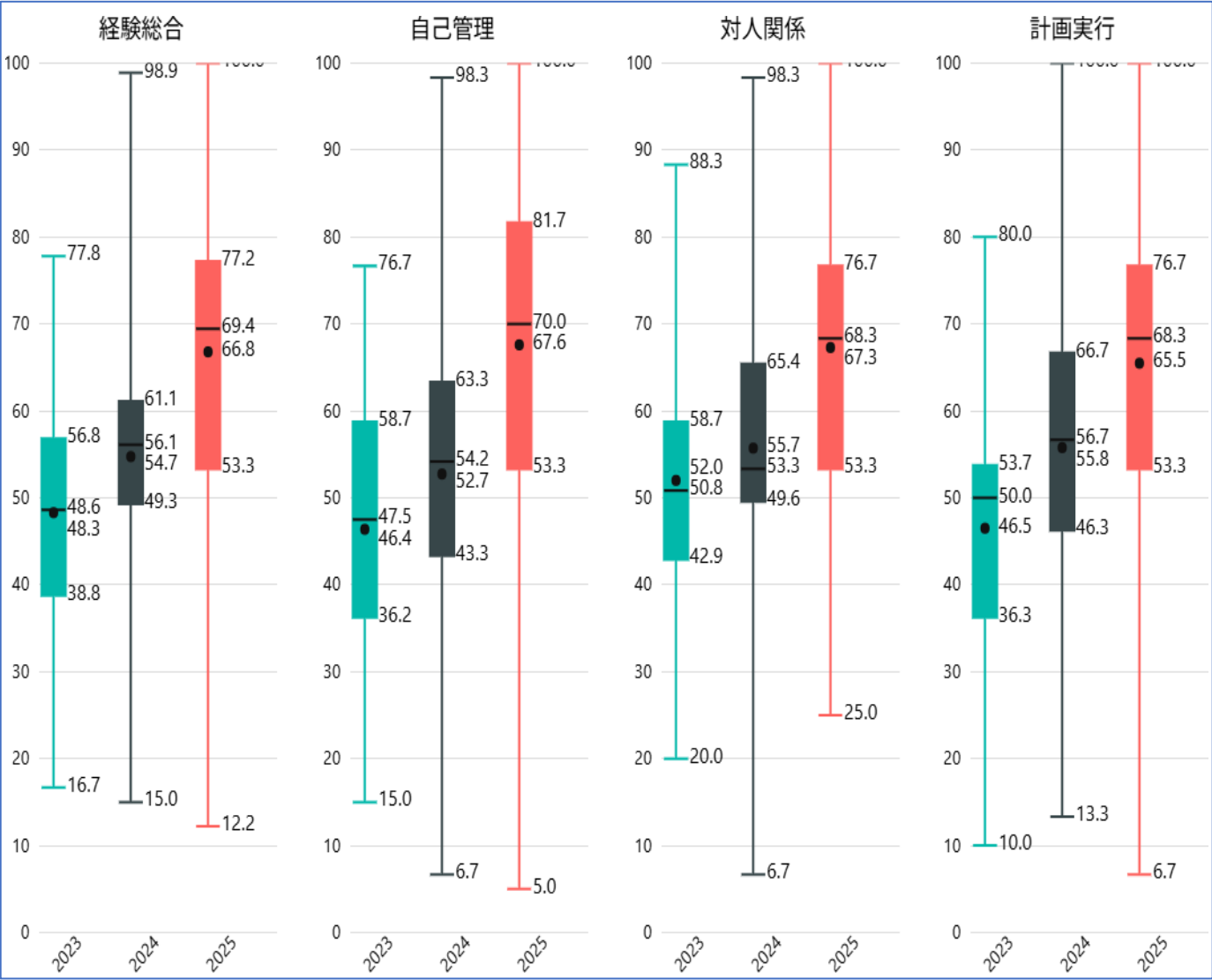
「思考力」の観点	「思考力」が不足していると...
情報を抽出し吟味する (批判的思考力)	<ul style="list-style-type: none">・間違った情報を鵜呑みにしてしまう・複数の情報で矛盾があるのに、それに気づくことができない・結論を導出するために正しく調査・実験ができない
他者との共通点・違いを理解する (協働的思考力)	<ul style="list-style-type: none">・発言が常に自分視点のみであり、他者を巻き込めない・主張が食い違った時に感情面のやり取りが中心となり、議論が深まらない・自分の主張と食い違う発言に対し、常にネガティブな返答を繰り返す
情報を関連づける・類推する (創造的思考力)	<ul style="list-style-type: none">・他メンバーの発表やレポートから学ぶことが少ない・情報を総合的に考えることができず、視野が狭くなってしまう・常にゼロベースで物事を考えることができない





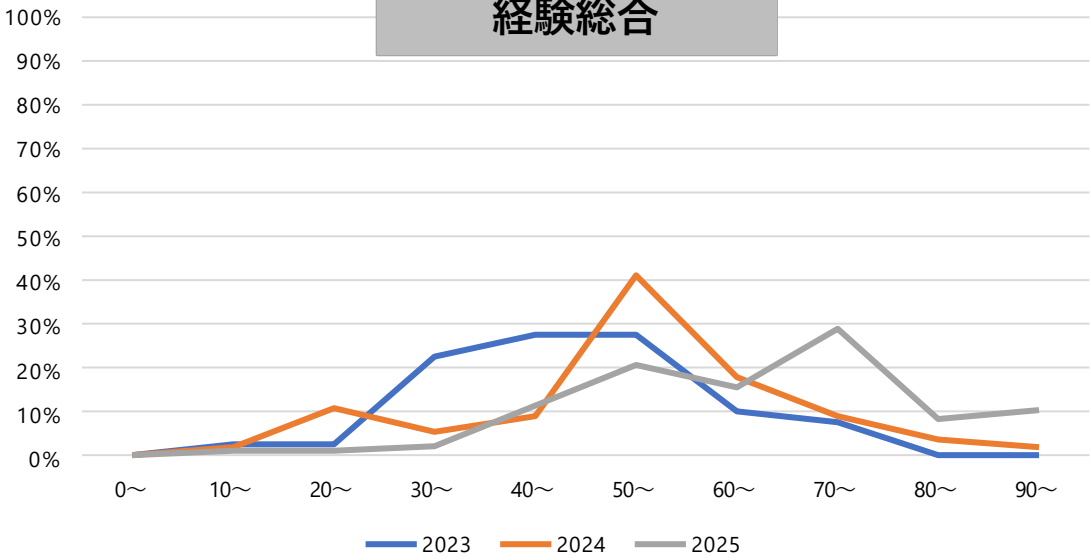
	「姿勢・態度」8つの測定項目	高い場合の傾向	低い場合の傾向
レジリエンス	感情の制御	・精神的にタフ ・穏やか	・繊細 ・心配りや敏感に反応できる面も
	立ち直りの早さ	・打たれ強い ・切り替えが早い	・落ち込みを引きずることもある
	状況に応じ冷静に対応する	・物事に動じない ・対応が柔軟	・周りに合わせて行動する
リーダーシップ	自ら先頭に立って進める	・自らの意志や考えを主張する ・指導性がある	・控えめ（慎ましい）
	未知のものに挑戦する	・達成意欲がある ・困難にチャレンジする	・あきらめがよい
	粘り強くやり抜く	・責任感が強い ・物事にこだわる	・こだわりがあまりない ・柔軟
コラボレーション	相手の立場に立とうとする	・他者への信頼感がある ・思いやりや優しさがある	・情に流されにくい
	他者と関わろうとする積極性	・明るく社交的 ・フットワークが軽い	・自分に関心が向きやすい



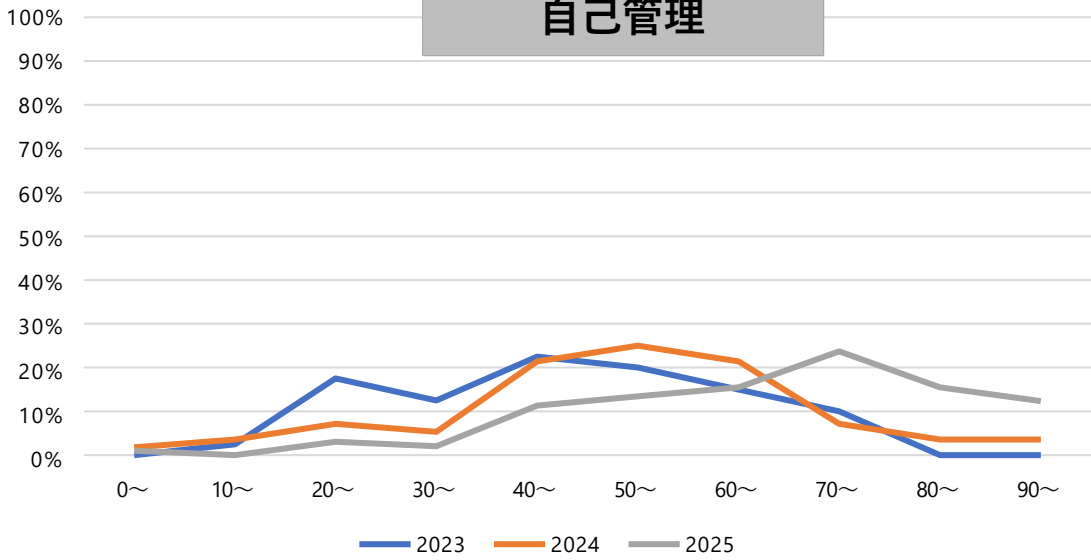


	「経験」9つの測定項目	代表的な質問項目
自己管理	挑戦する経験	難しいと思えることでも挑戦した
	続ける経験	自分の目標は達成するまでやりとげた
	ストレスに対処する経験	ストレスを感じたとき、その問題と向き合い克服した
対人関係	多様性を受容する経験	自分の価値観で良し悪しを決めず、相手の立場や体験を尊重した
	関係性を築く経験	チーム内でトラブルが起こったとき、自ら働きかけて問題を解決した
	議論する経験	議論（話し合い）の場では何が課題で何を解決すべきか明らかにするようにした
計画・実行	課題を設定する経験	良い評価（成績）を得られなかったとき、なぜその評価になったのかを考えた
	解決策を立案する経験	チーム活動などで計画を考える際、どのくらい効果的か予測しながら進めた
	実行・検証する経験	試験の結果が出たとき、結果の良し悪しだけでなくどうすればさらに良くなるかを考えた

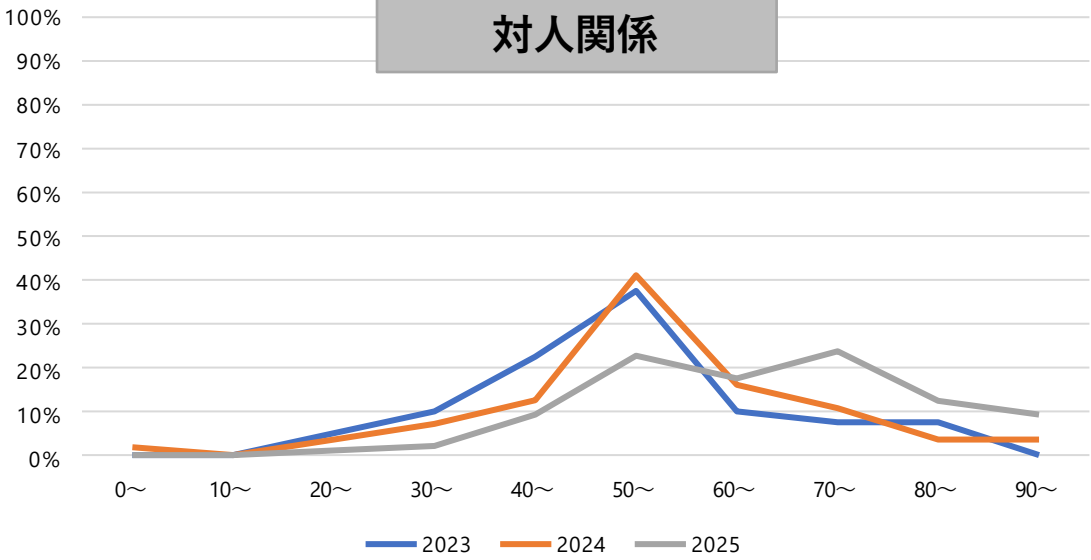
経験総合



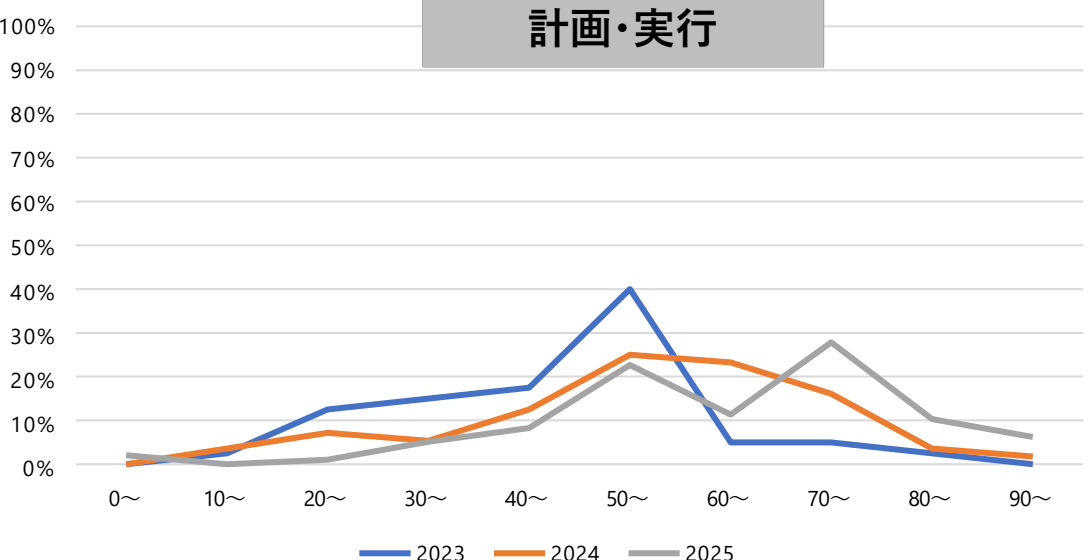
自己管理



対人関係



計画・実行

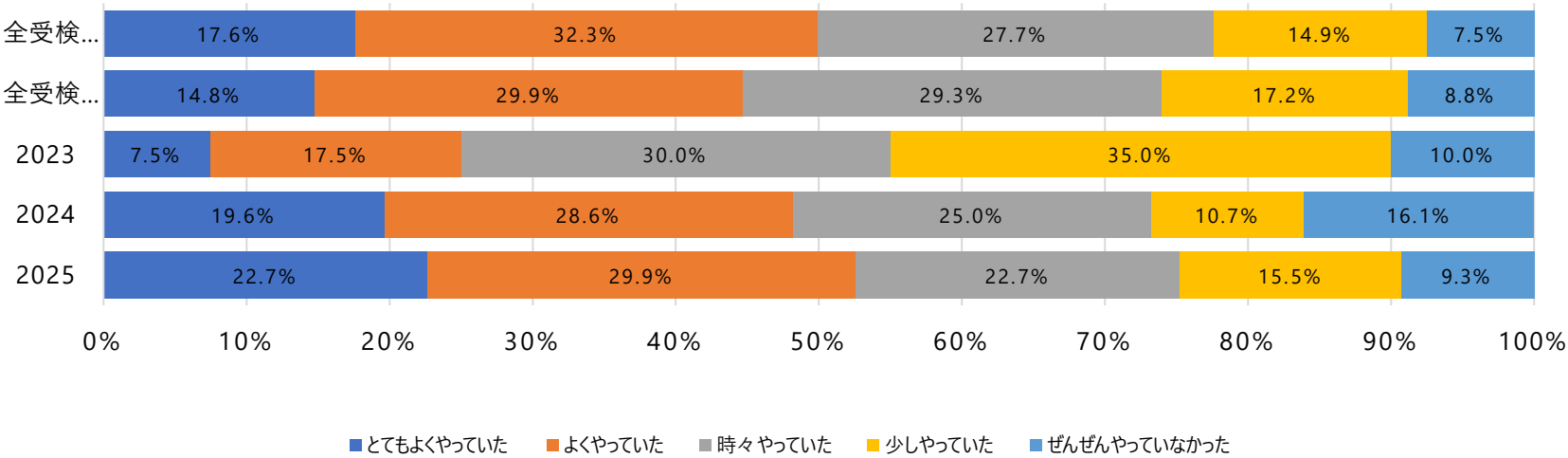


			客観評価							主観評価			
			思考力				姿勢・態度			経験			
受検対象	受検年度	受検人数	思考力総合	批判的思考力	協働的思考力	創造的思考力	レジリエンス	リーダーシップ	コラボレーション	経験総合	自己管理	対人関係	計画・実行
全受検者計	2025入学_1年	-	45.8	44.7	47	47.4	47.7	47.1	49.4	56.7	53.7	60.3	56.2
全受検者_短期大学	2025入学_1年	-	41.9	39.9	43.6	42.8	46.7	46.3	50.2	55.1	52.3	59.2	53.7
共生社会学科	2025	97	35.4	37.7	34.8	39.9	51.2	51.8	47.7	66.8	67.6	67.3	65.5

※全受検者_短期大学のスコアと比較してプラス3以上の場合は青字、マイナス3以下の場合は赤字で表記。

全受検者計
2025年入学1年生
_全国集計値
25年4~5月末集計

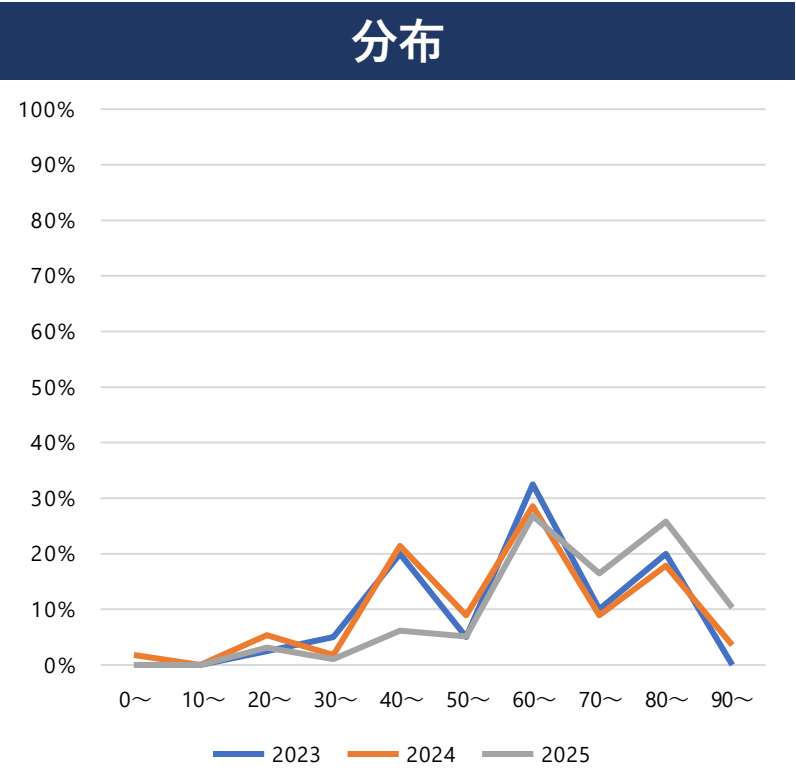
良い評価（成績）が得られなかったとき、
なぜその評価になったのかを考えた



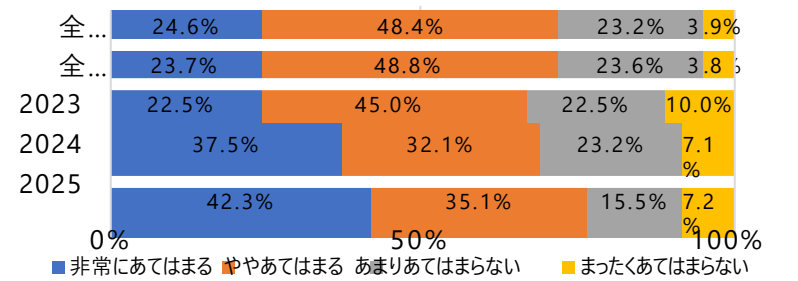
全受検者計_短期大学
2025年入学1年生
_全国集計値
25年4~5月末集計

2023,2024,2025...京都西山短期大学_1年生

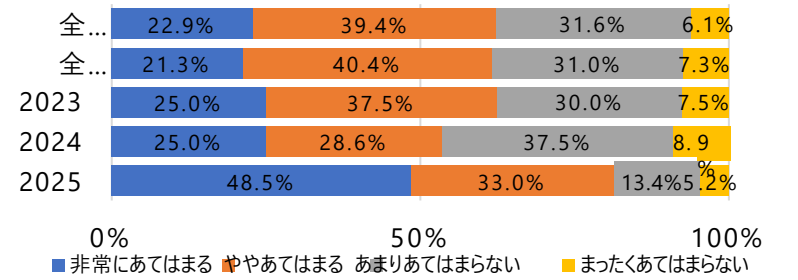
実施年度	学びへの意欲
全受検者計	67.0
全受検者_短期大学	65.8
2023	62.5
2024	59.9
2025	72.3



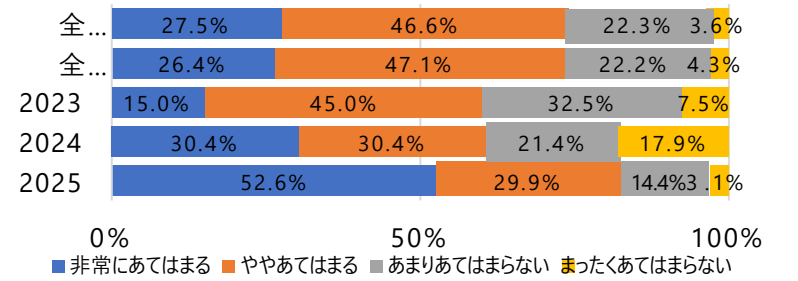
「正解」のない課題であっても、前向きに取り組もうとする



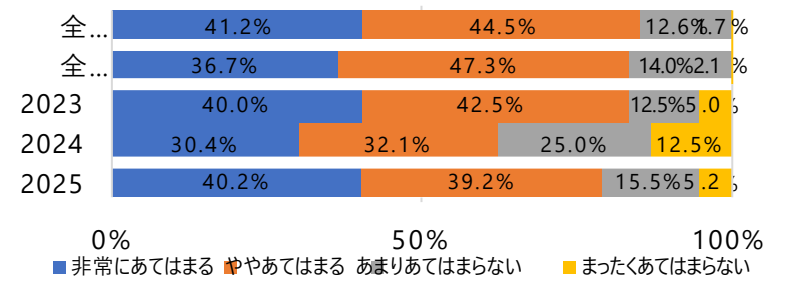
失敗しそうであっても、いろいろなことに挑戦してみたい



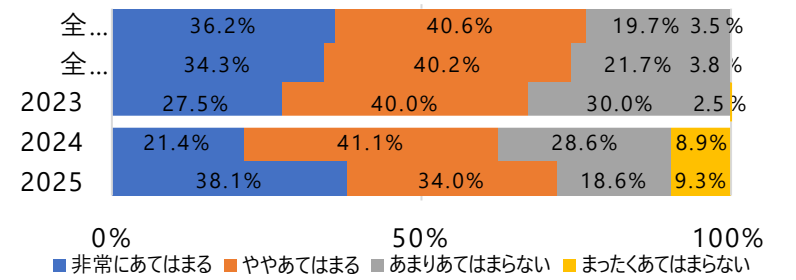
高い目標を持って学ぼうと思っている



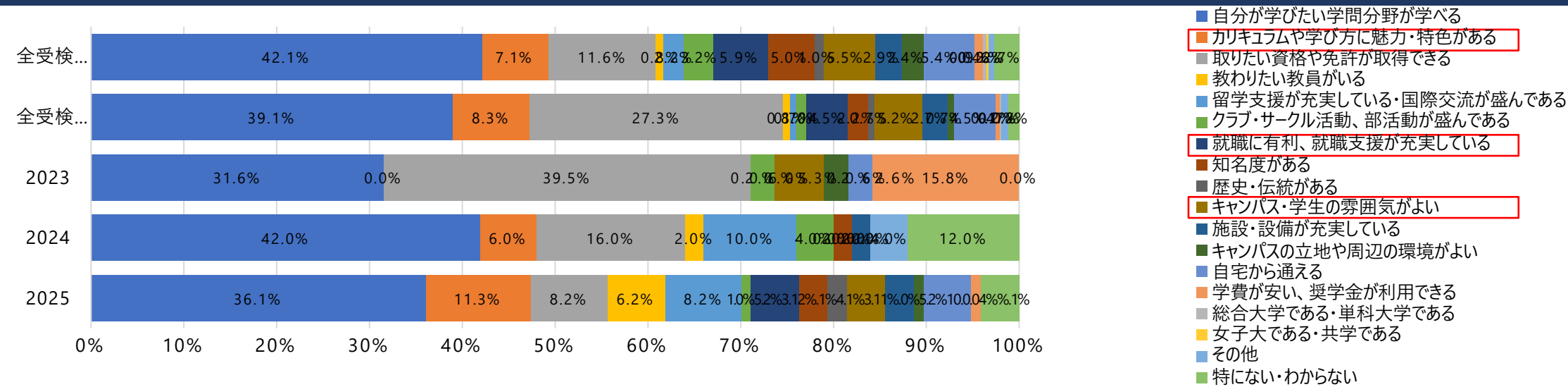
普段から自分なりの意見や視点を持とうとしている



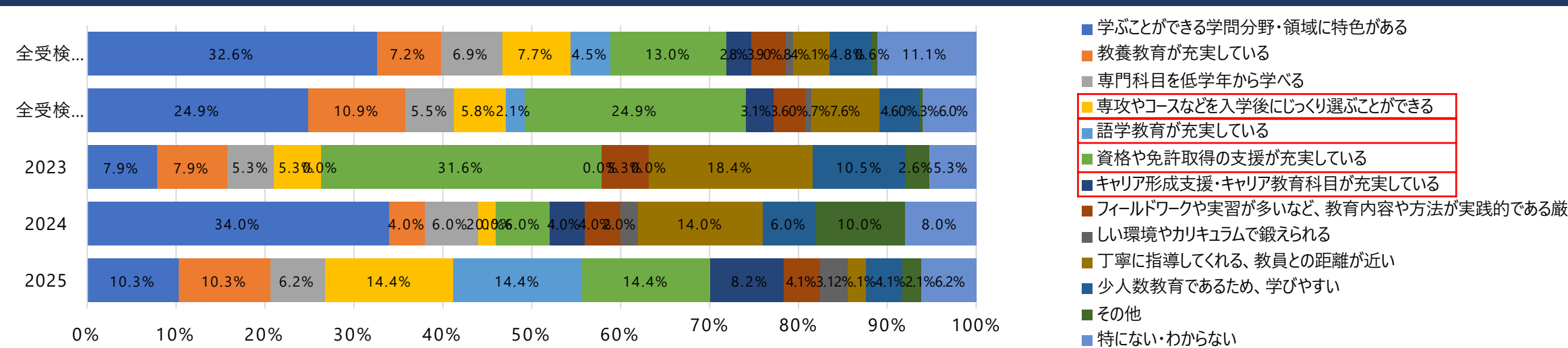
考え方や立場の異なるさまざまな人と交流したい

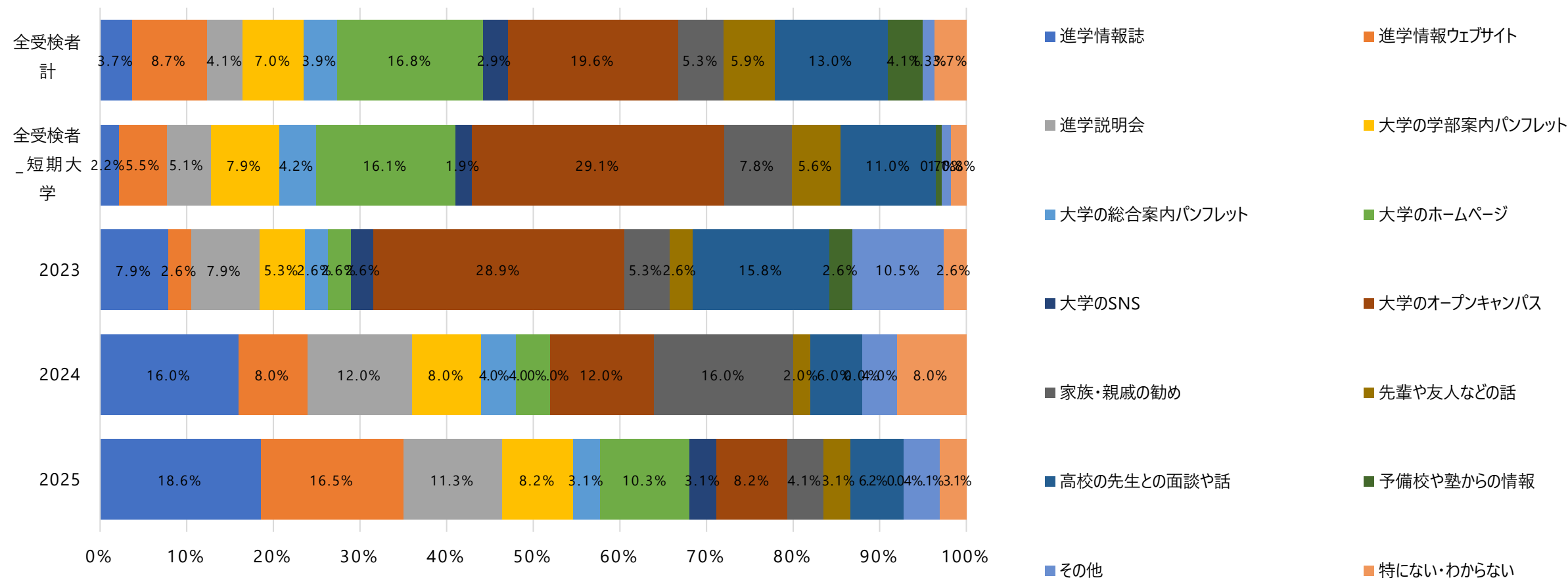


大学全体 1 位

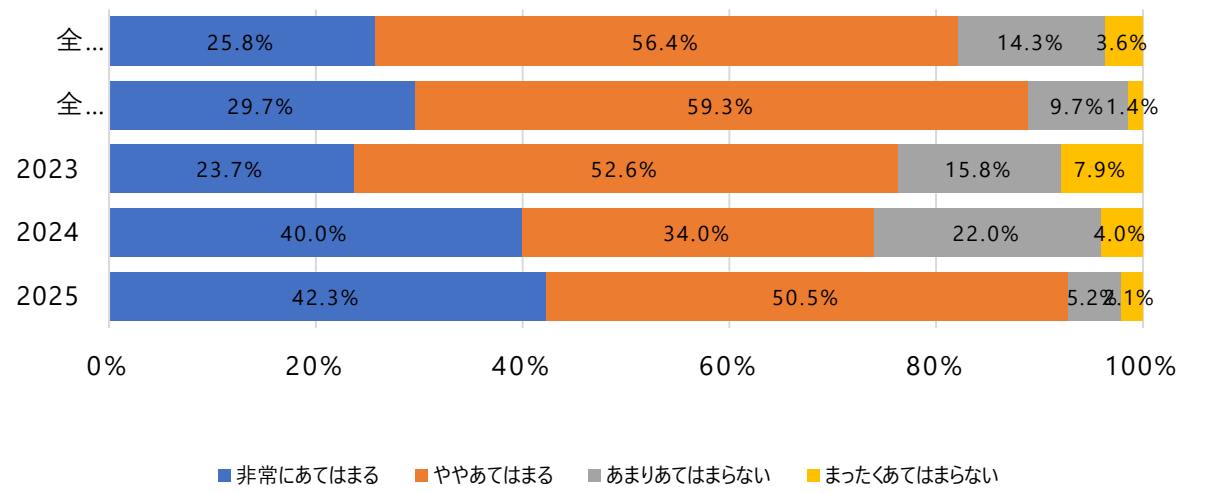


学問内容や学び方 1 位

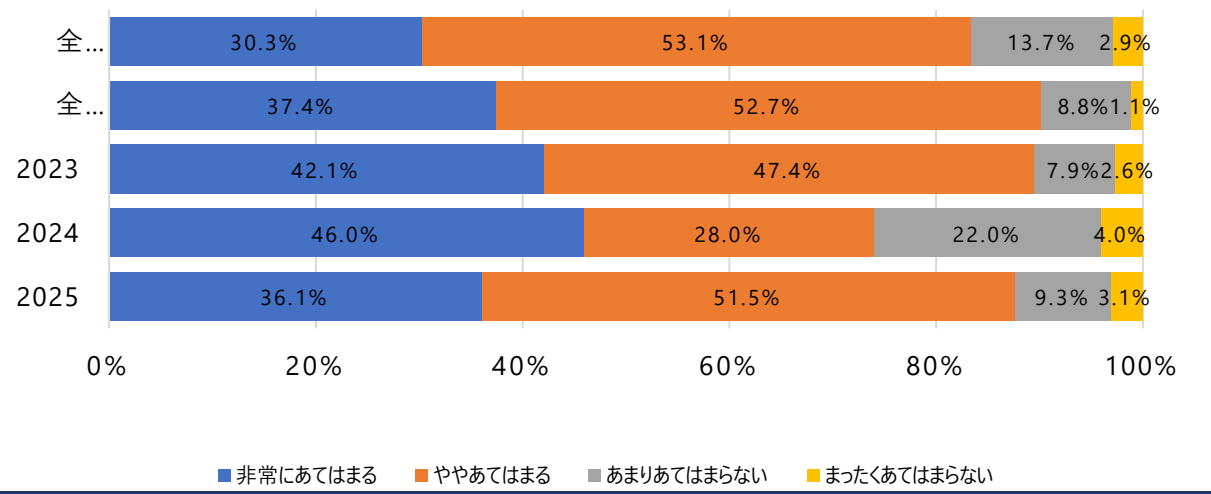




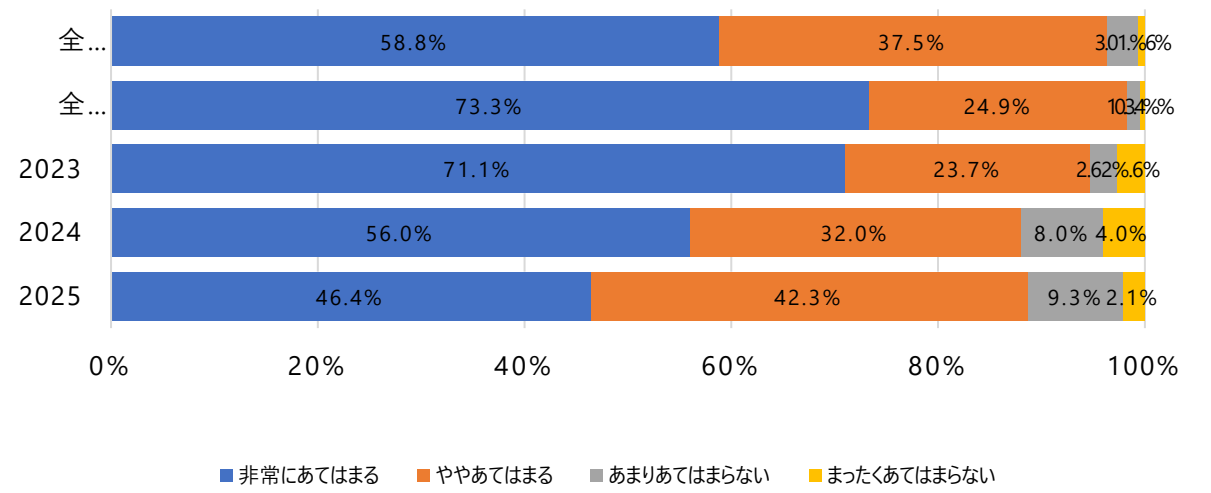
所属する学部・学科の入学時に期待する能力、意欲、態度など
(どういう学生に入学してもらいたい)を知っている



所属する学部・学科の教育目標
(どのような人材の育成を目指している)を知っている

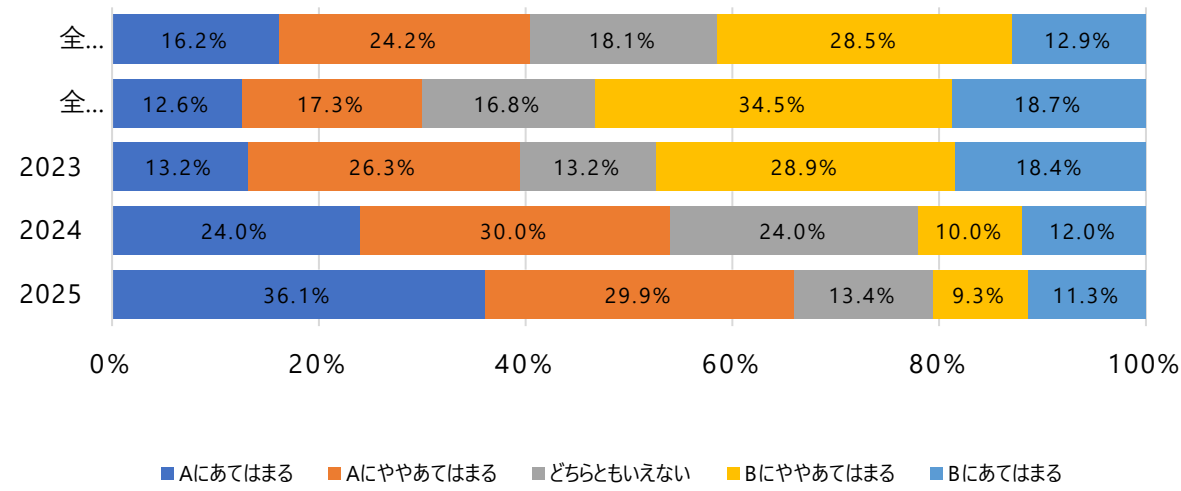


あなたが通う大学で、
自分の将来に必要な学びを得ることができると思う

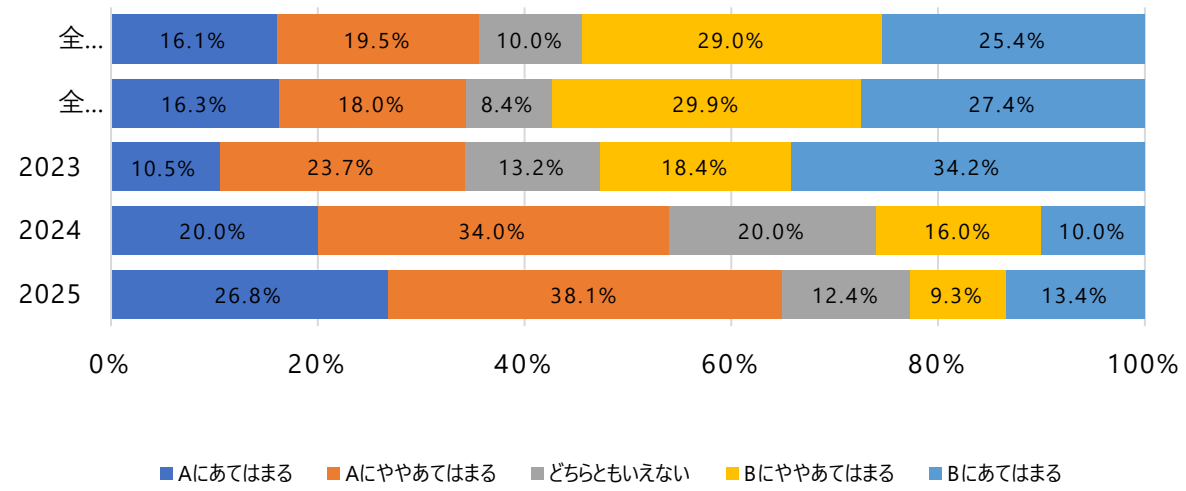


履修選択の考え方

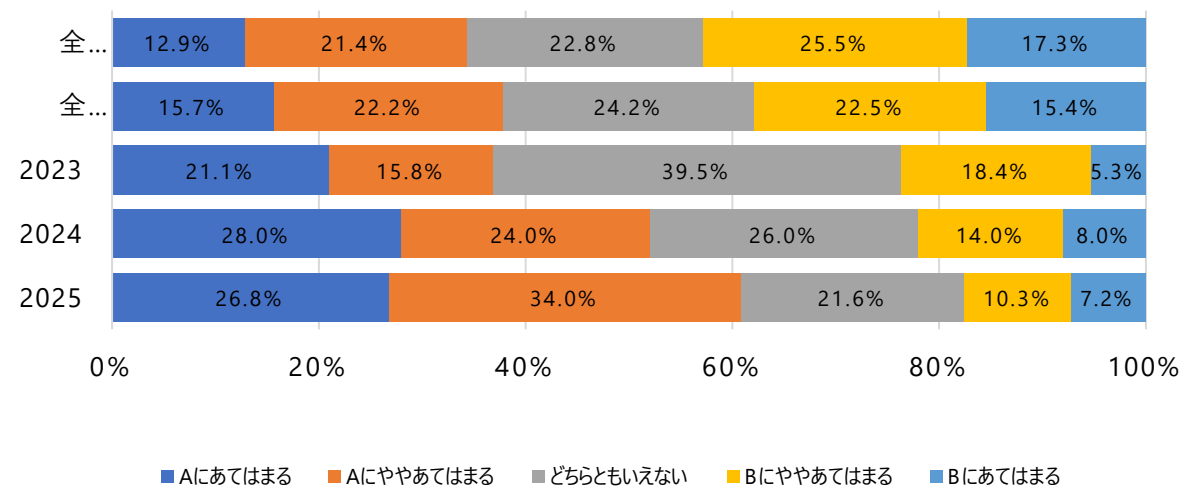
A. あまり興味がなくとも、単位を楽に取れる授業がよい
B. 単位を取るのが難しくても、自分の興味のある授業がよい



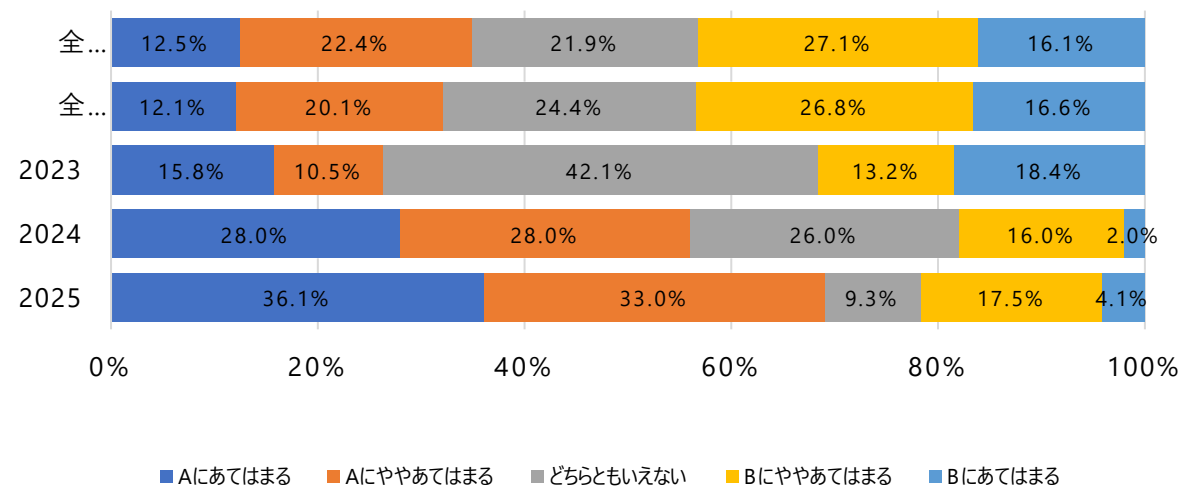
A. さまざまな学問分野を幅広く学びたい
B. 興味のある学問分野を深く追求したい

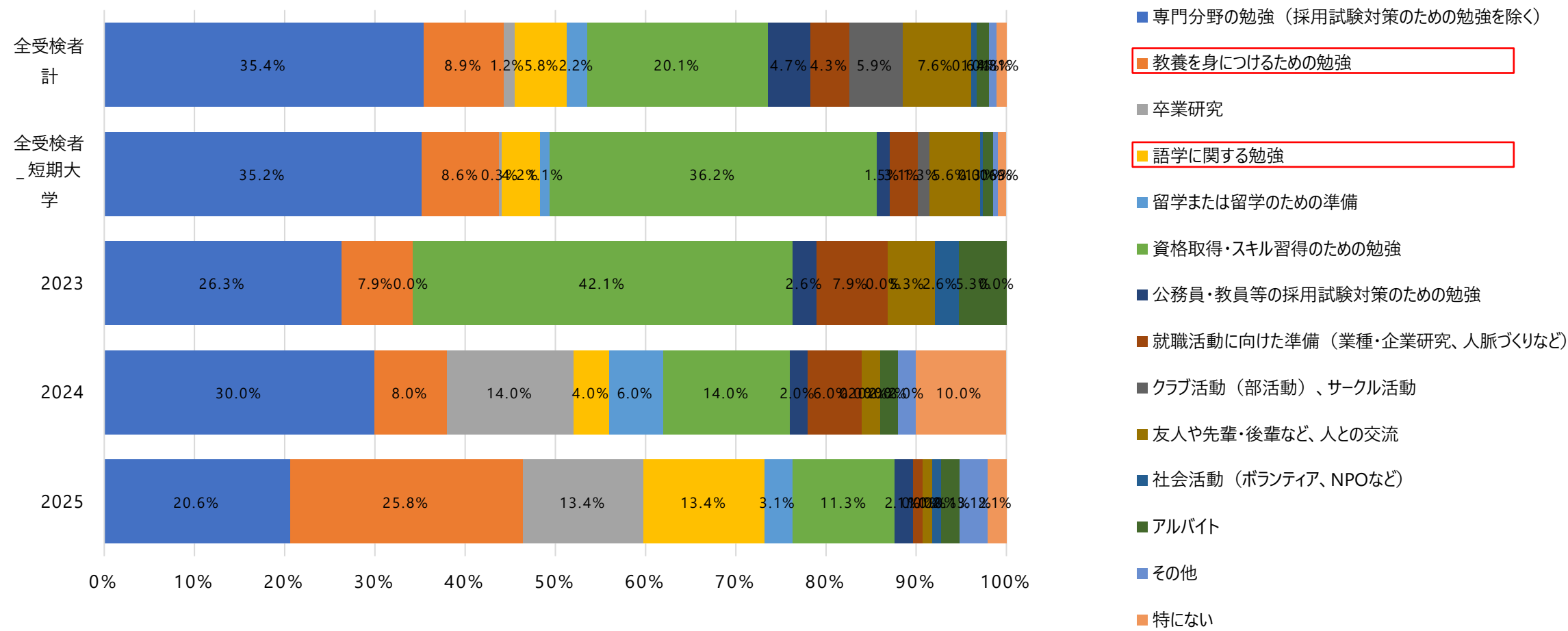


A. 学生生活については、教員が指導するほうがよい
B. 学生生活については、学生の自主性に任せるほうがよい

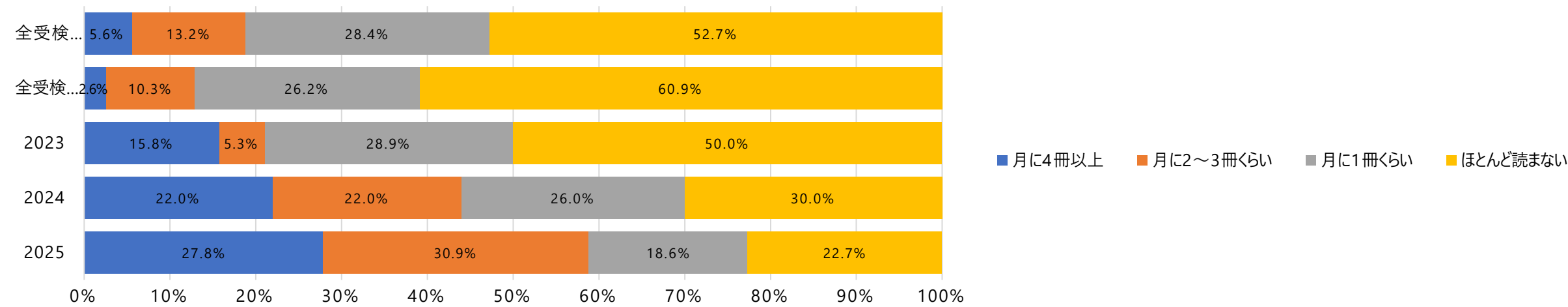


A. あまり自由に履修選択できなくても、体系的に学べるほうがよい
B. あまり体系的に学べなくても、自由に履修選択できるほうがよい

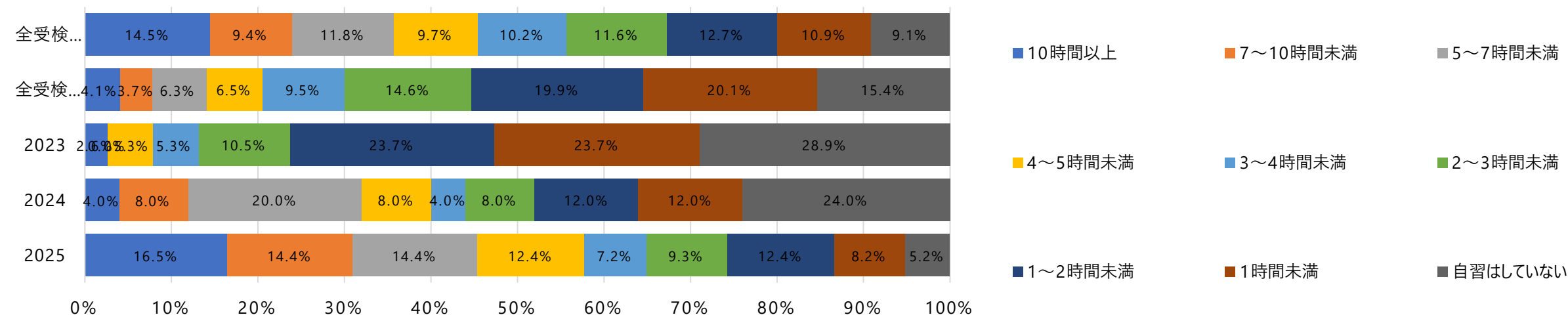




読書量

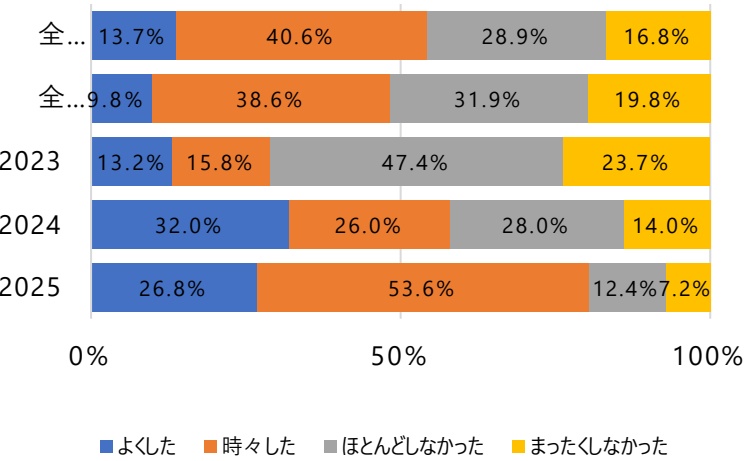


自習時間

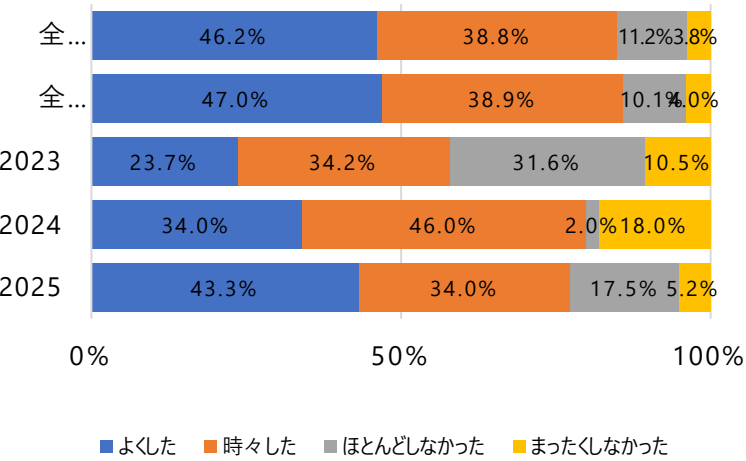


学びへの取り組み

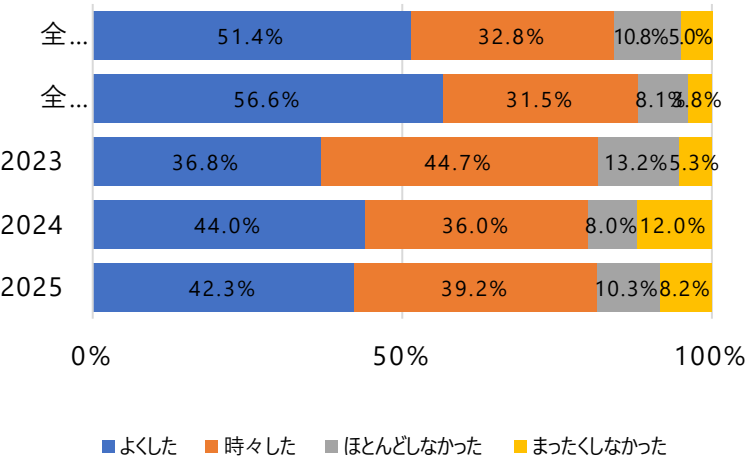
必要な予習や復習はしたうえで授業に臨む



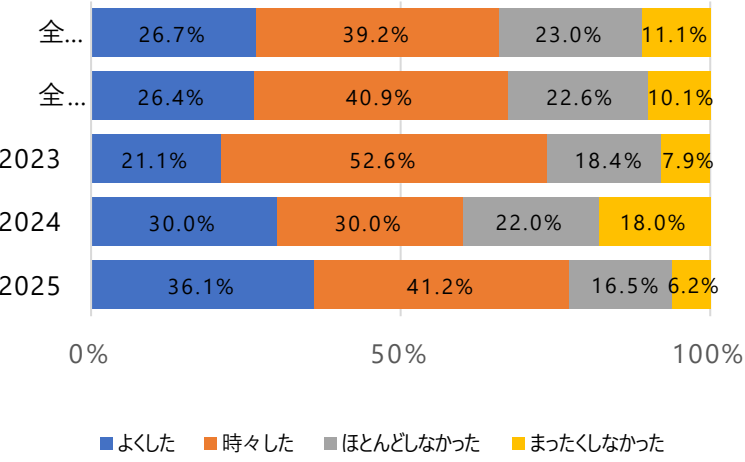
授業中、グループワークやディスカッションに積極的に参加する



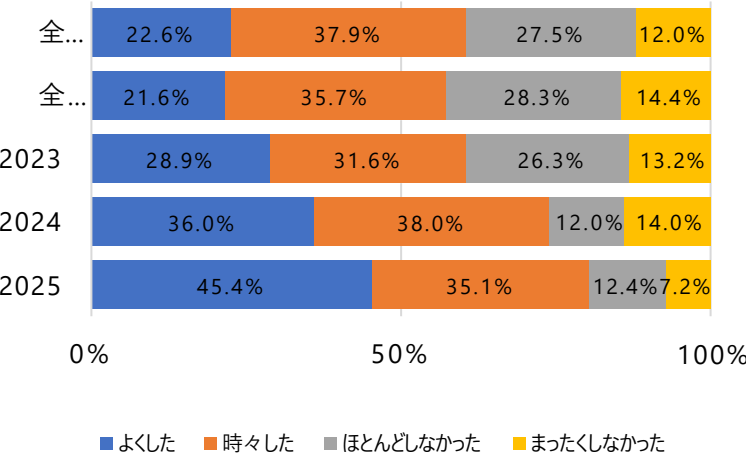
板書や投影資料以外でも大事なことはノートにとる



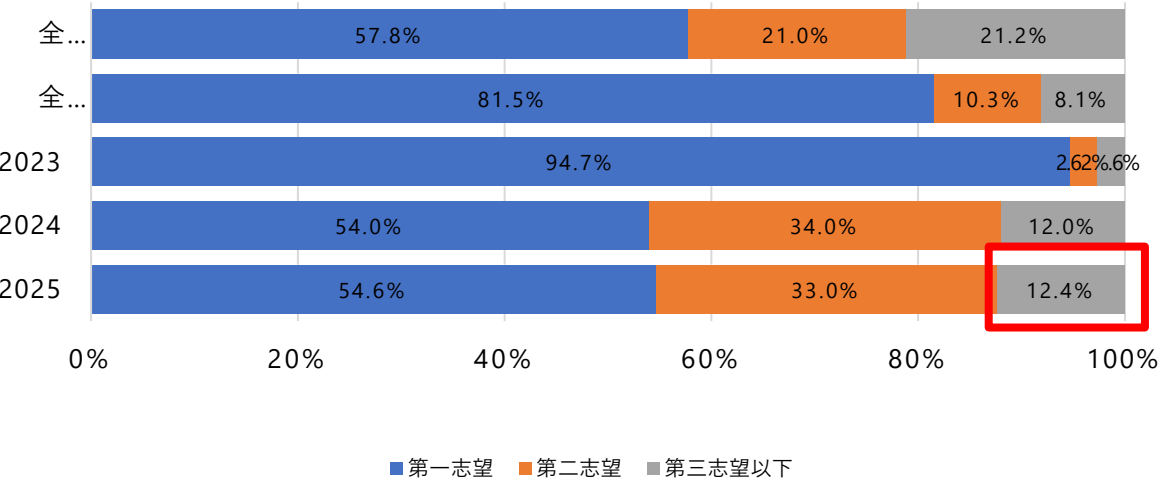
授業の内容でわからないことは教員に質問や相談に行く



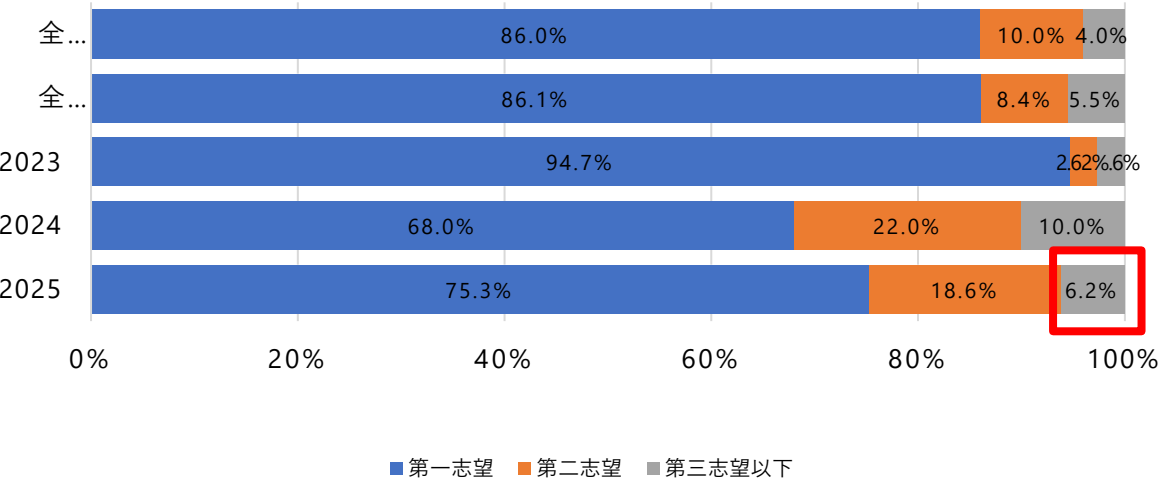
授業と関わりのないことでも、興味を持ったことについて自主的に学習する



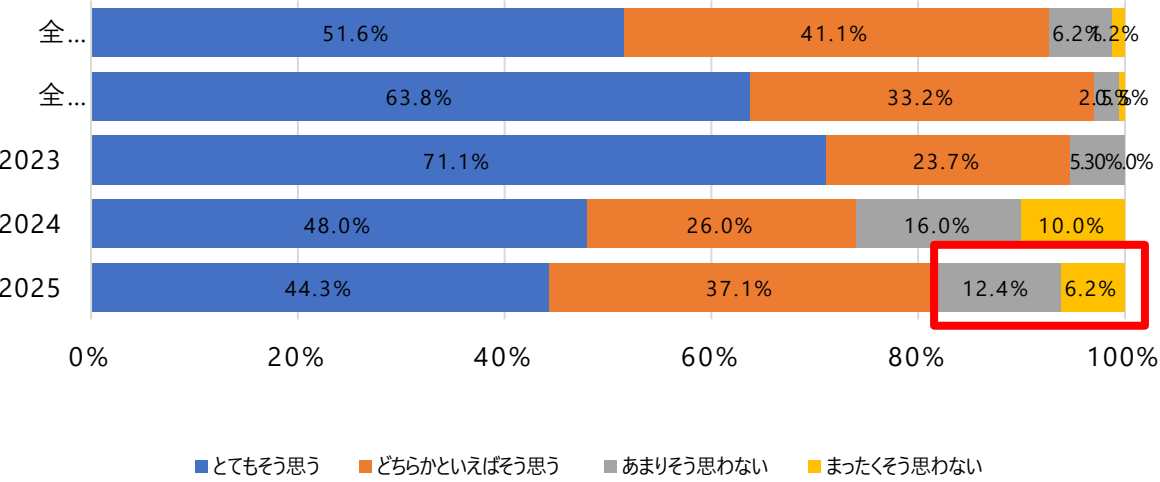
大学志望度



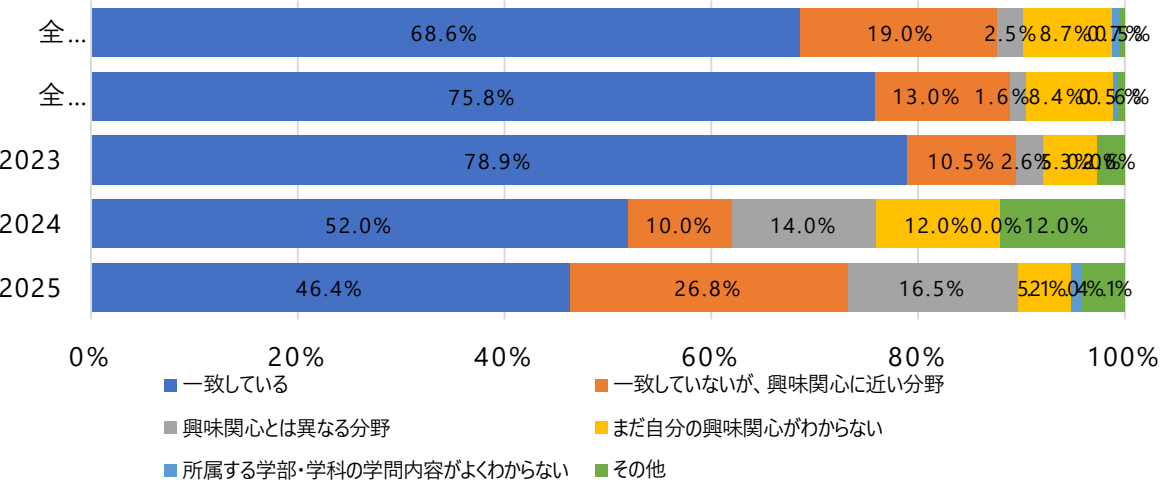
学部・学科志望度



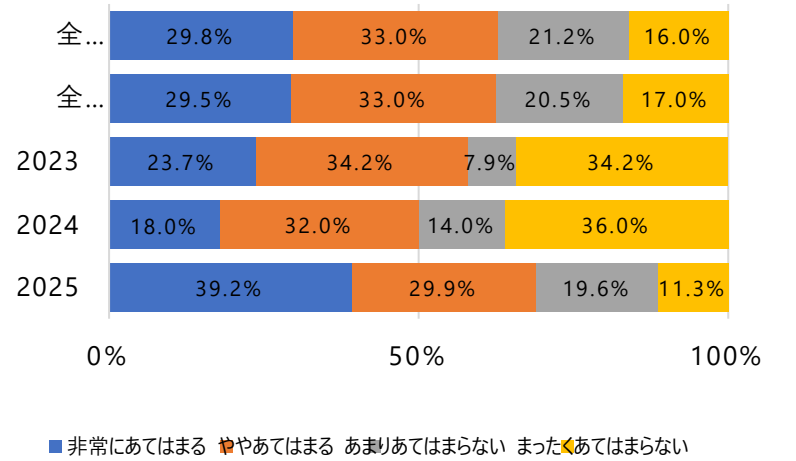
大学納得度



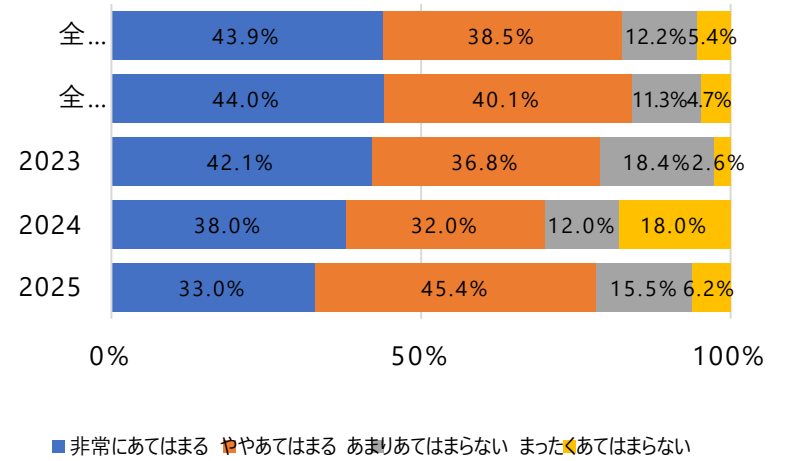
興味・関心の一致度



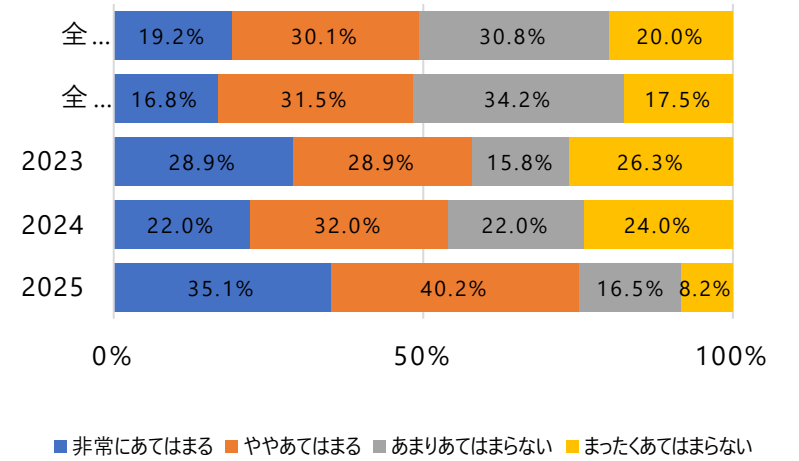
友人ができるか不安がある



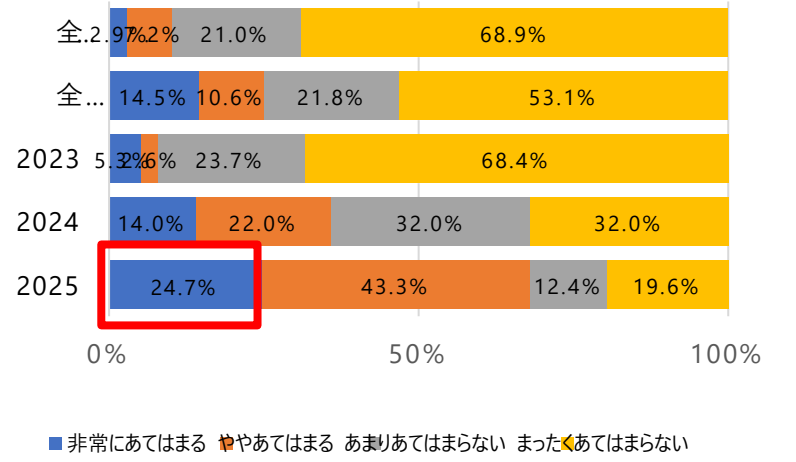
授業についていけるか不安がある



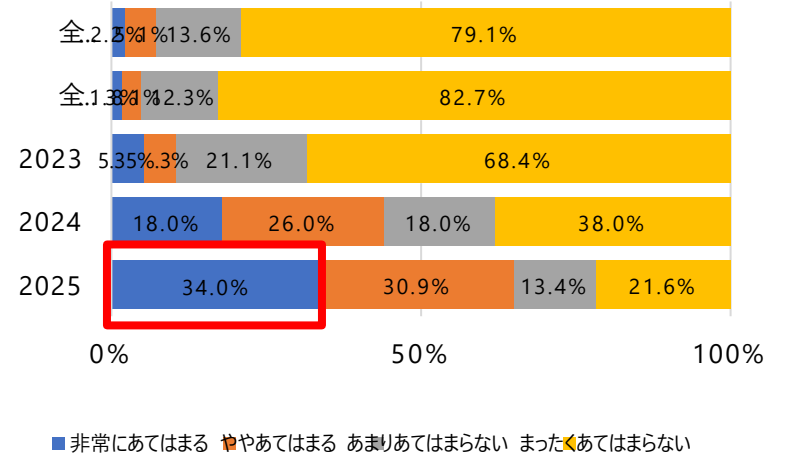
授業料の納付などに不安がある

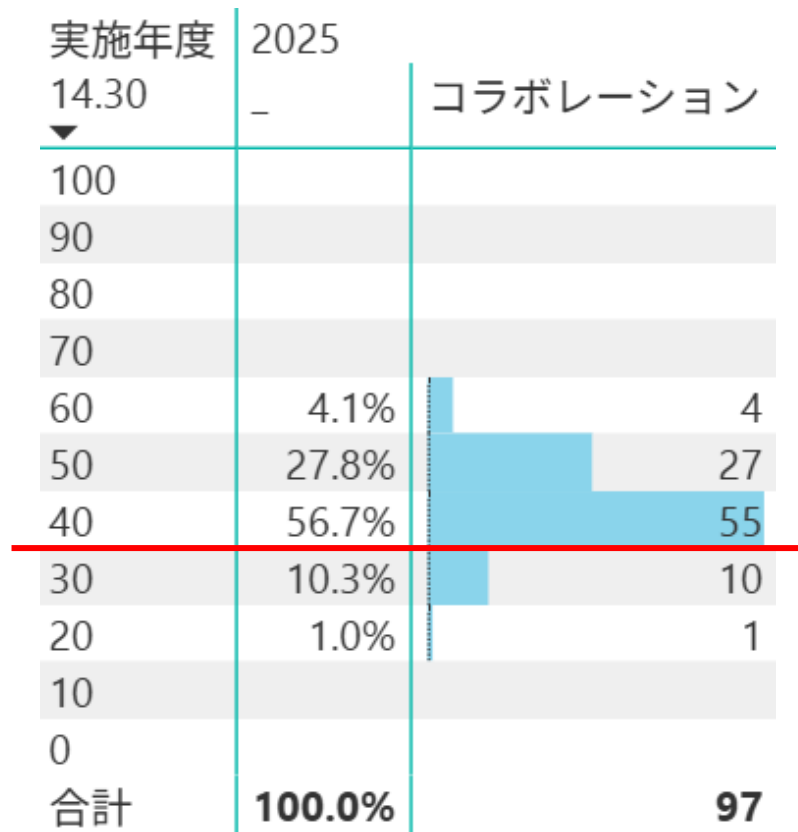
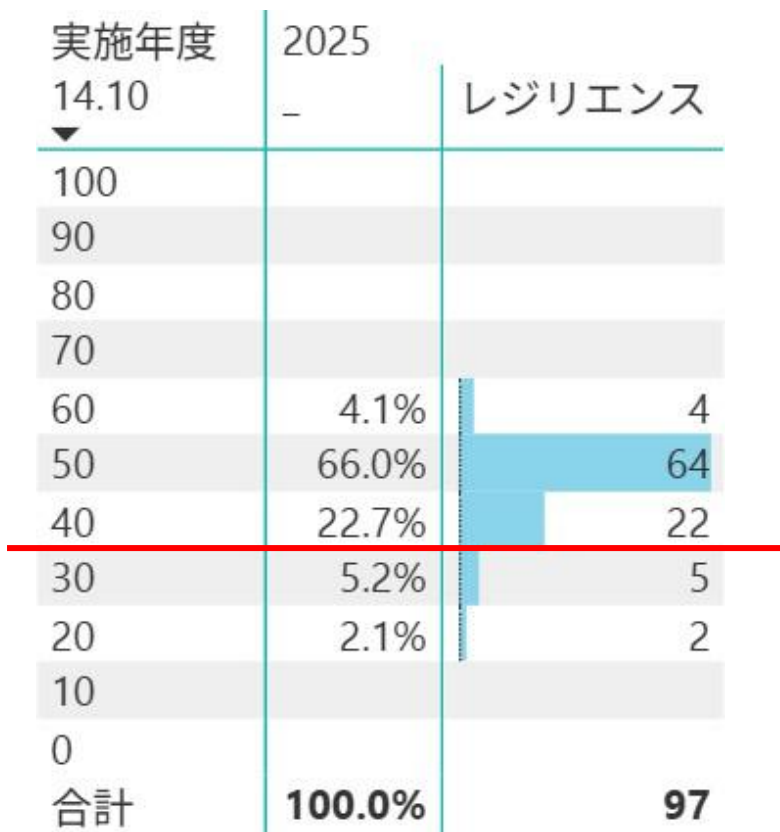


他の学部・学科に編入したい



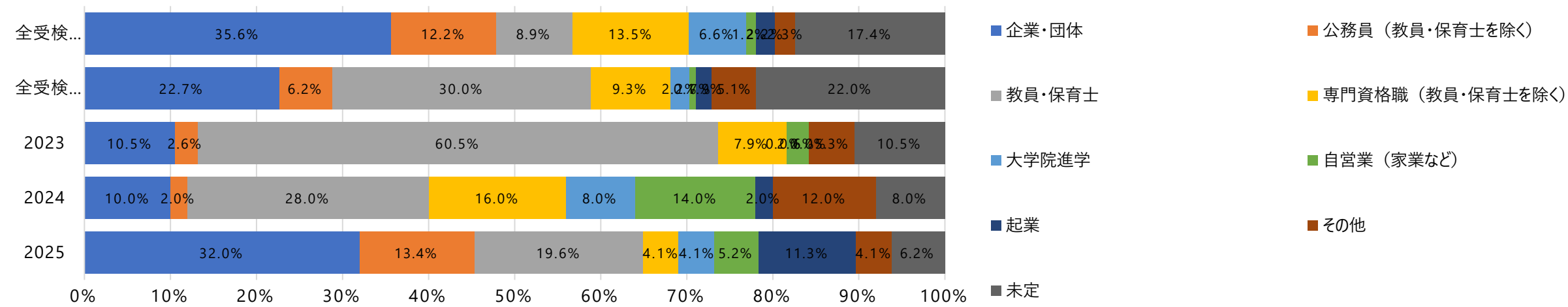
他大学の再受検や退学を検討している



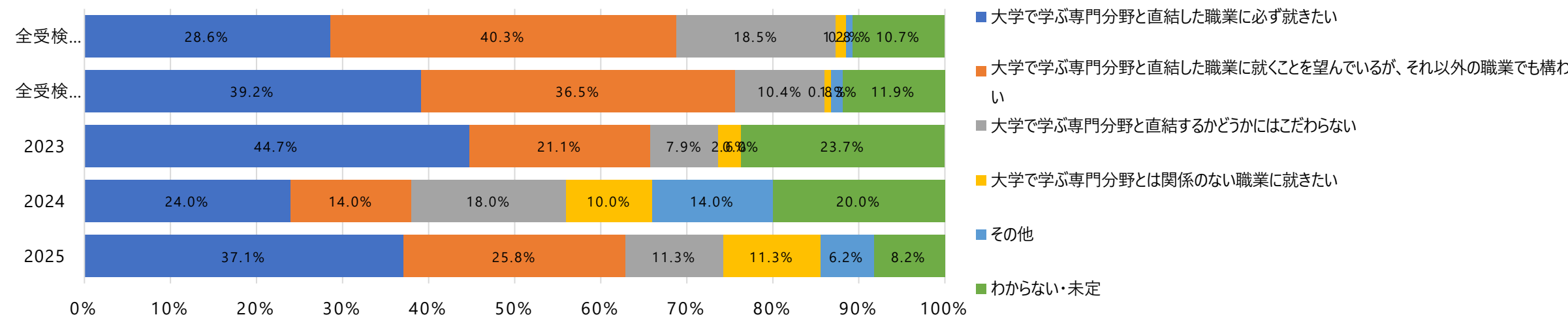


レジリエンス（精神的なタフさ）、コラボレーション（他者への働きかけ）のスコアが30ポイント以下の学生（それぞれ7名、11名）へは教職員様からのフォロー、FBが必要かもしれない。

卒業後の希望進路



専門領域と希望進路との関係



2年生結果概要

■ 受検対象・受検人数・受検割合

※「受検割合」は受検した人数（≠登録人数）の内訳を表示。

受験対象	第1回		第2回	
	受検人数	受検割合	受検人数	受検割合
全体	52	100.0%	52	100.0%
共生社会学科	52	100.0%	52	100.0%

2年生の受検結果については1・2年生どちらも受検いただいた52名のデータを元にご報告させていただきます。

今年度は70名の2年生の方に受検いただきました。学内受検のご対応をいただき、ありがとうございました。

【受検人数内訳】

日本語版テスト：23名 英語版テスト：47名

項目	サマリー
ポジティブな情報	<p>①1年次の受検結果とのパネルデータで見える傾向</p> <ul style="list-style-type: none">・ 思考力、経験：1年次と比較するとスコアが大きく上昇している。・ 姿勢・態度：1年次と2年次の結果では大きな変化は見られない。 <p>②学びへの意欲</p> <p>1年次から5.5ポイント上昇。</p> <p>特に「<u>失敗しそうであってもいろいろなことに挑戦してみたい</u>」「<u>高い目標を持って学ぶ</u>」への肯定回答の割合が増加している。</p> <p>③力をいれたこと</p> <p>86.5%の学生が専門分野・教養・語学・資格取得のための勉強、卒業研究や留学準備等、勉強や研究関連に力を入れたと回答。</p> <p>④学びへの取り組み</p> <p>全項目で肯定回答の割合が増加。特に「教員に質問や相談に行く」「授業と関わりのないことでも興味のあることについて自主的に学習する」の肯定回答の割合の増加は顕著。</p> <p>⑤希望進路について、46.2%の学生が「大学で学ぶ専門分野と直結した職業に必ず就きたい」と回答。</p>
気になる情報	<p>★ <u>卒業後の希望進路が未定と回答した学生が11.5%。</u></p> <p>★「<u>就きたい職業が明確になっている</u>」「<u>将来に向けて準備している</u>」に対して「あてはまらない」と回答した学生がそれぞれ23.1%、15.3%。</p>

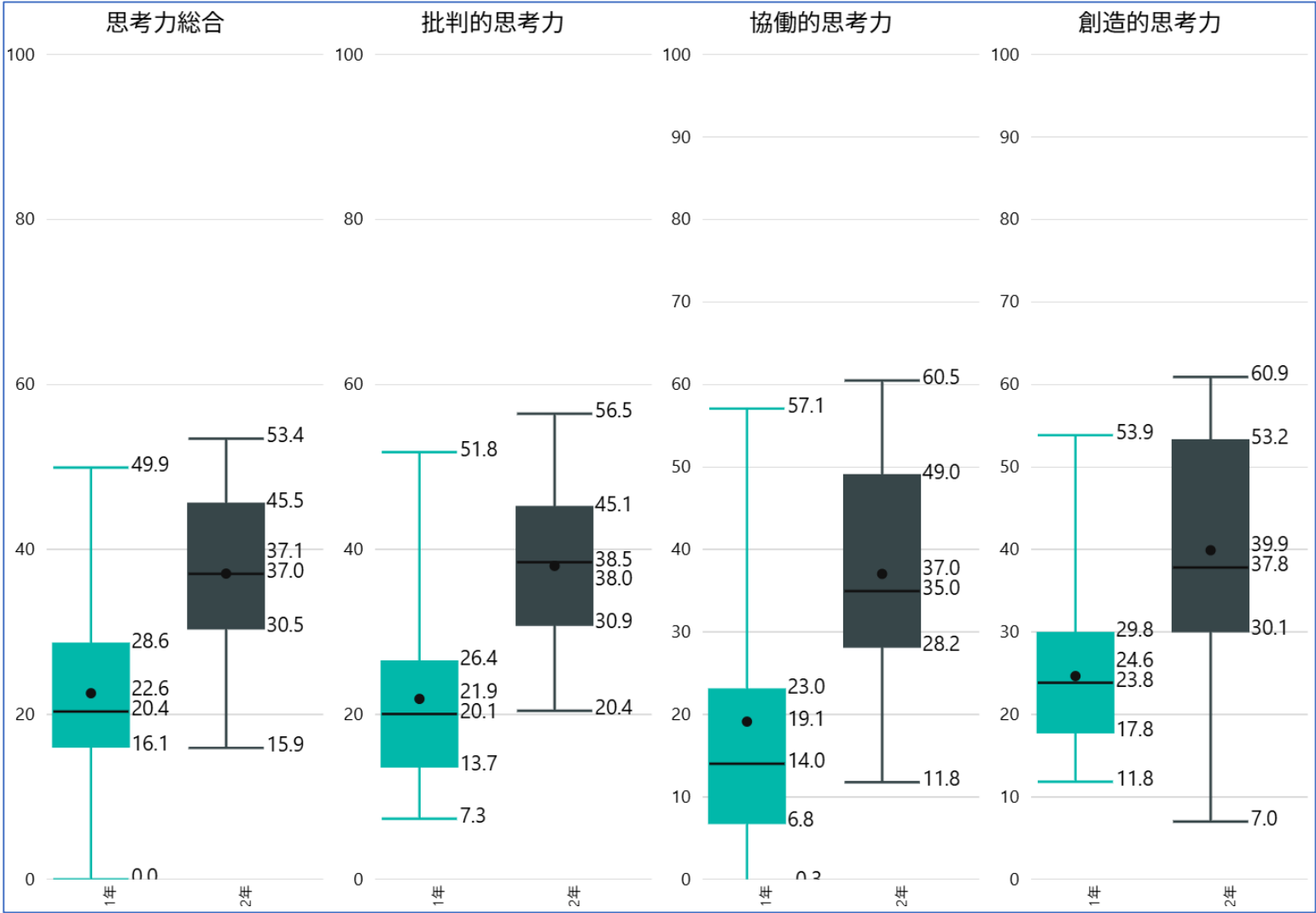
{note}

			思考力				姿勢・態度			経験			
受検対象	受検回	受検人数	思考力 総合	批判的 思考力	協働的 思考力	創造的 思考力	レジリエンス	リーダー シップ	コラボレ ーション	経験総合	自己管理	対人関係	計画・実行
貴学	第1回	52	22.6	21.9	19.1	24.6	50.2	49.1	45.2	54.6	52.4	55.8	55.5
	第2回	52	37.1	38.0	37.0	39.9	50.0	49.8	46.3	62.9	62.6	62.9	63.2
	差分	±0	+14.5	+16.1	+17.9	+15.2	-0.2	+0.7	+1.1	+8.3	+10.2	+7.1	+7.7

■思考力 ：全項目で1年次よりも14ポイント以上スコアが上昇している。
 特に協働的思考力は17.9ポイント上昇している。

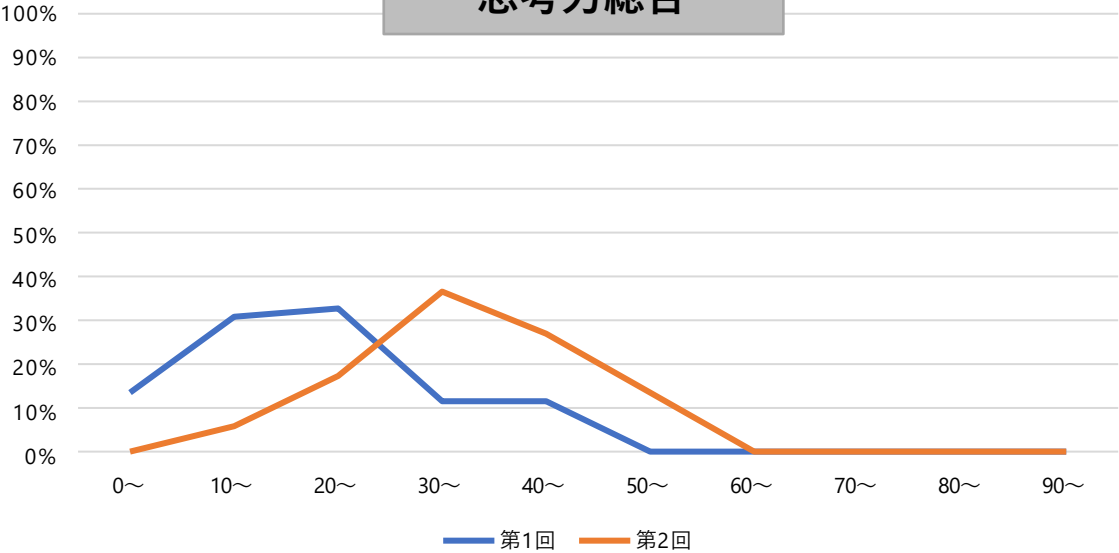
■姿勢・態度：全項目、1年次並みのスコア。

■経験 ：全項目で1年次よりも7ポイント以上スコアが上昇している。

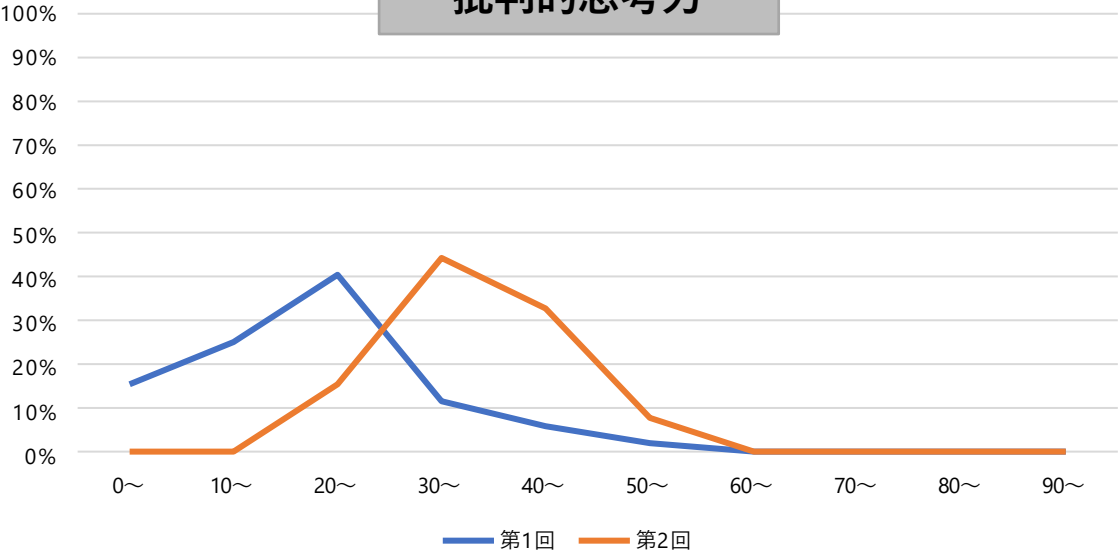


「思考力」の観点	「思考力」が不足していると...
情報を抽出し吟味する (批判的思考力)	<ul style="list-style-type: none">・間違った情報を鵜呑みにしてしまう・複数の情報で矛盾があるのに、それに気づくことができない・結論を導出するために正しく調査・実験ができない
他者との共通点・違いを理解する (協働的思考力)	<ul style="list-style-type: none">・発言が常に自分視点のみであり、他者を巻き込めない・主張が食い違った時に感情面のやり取りが中心となり、議論が深まらない・自分の主張と食い違う発言に対し、常にネガティブな返答を繰り返す
情報を関連づける・類推する (創造的思考力)	<ul style="list-style-type: none">・他メンバーの発表やレポートから学ぶことが少ない・情報を総合的に考えることができず、視野が狭くなってしまう・常にゼロベースで物事を考えることができない

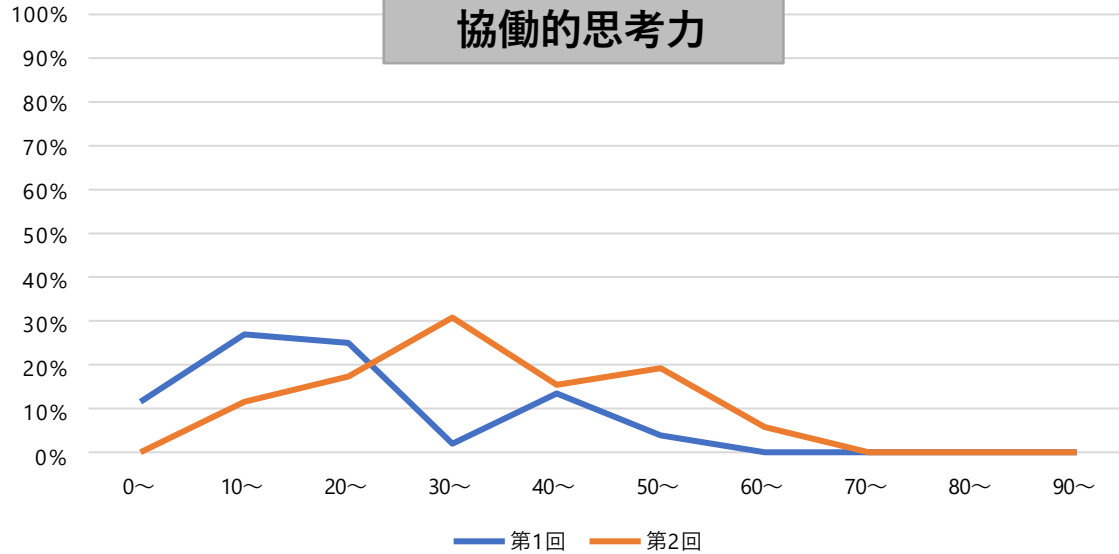
思考力総合



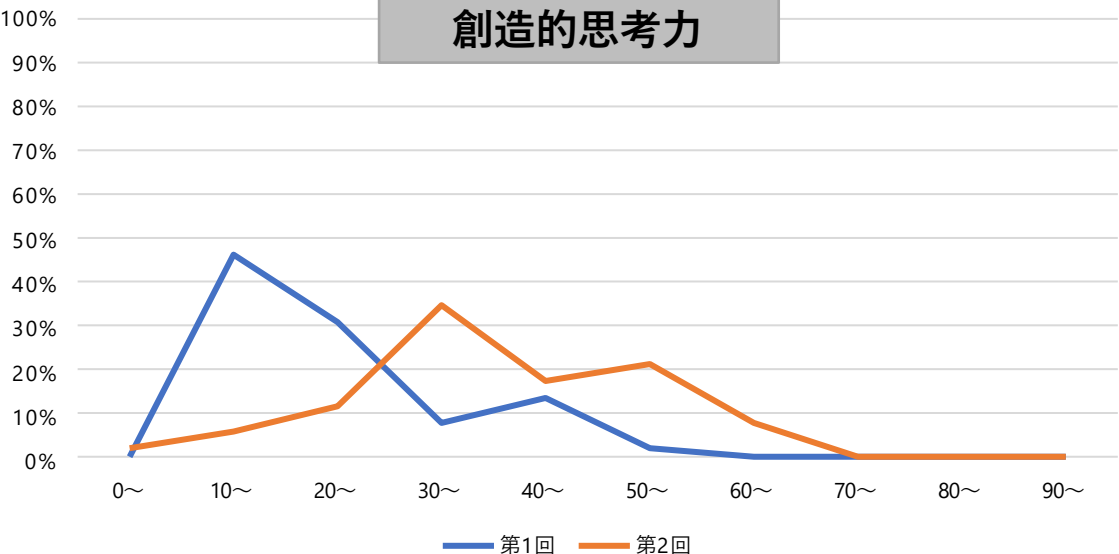
批判的思考力

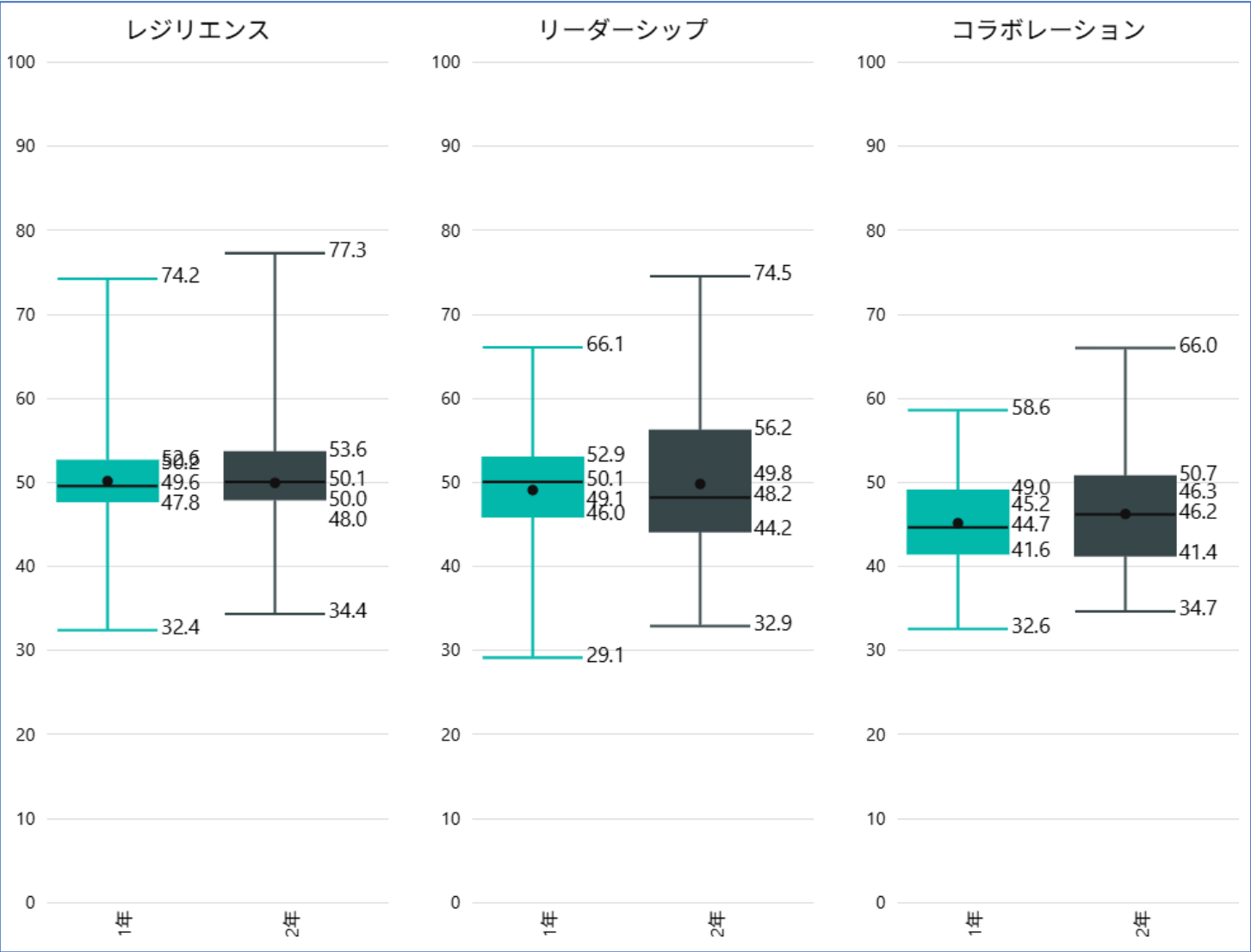


協働的思考力

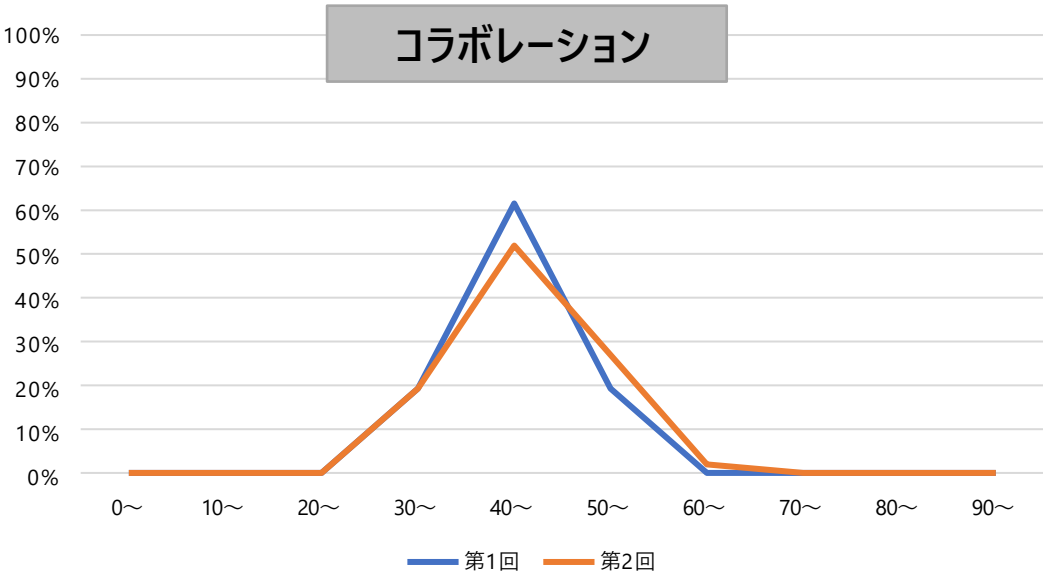
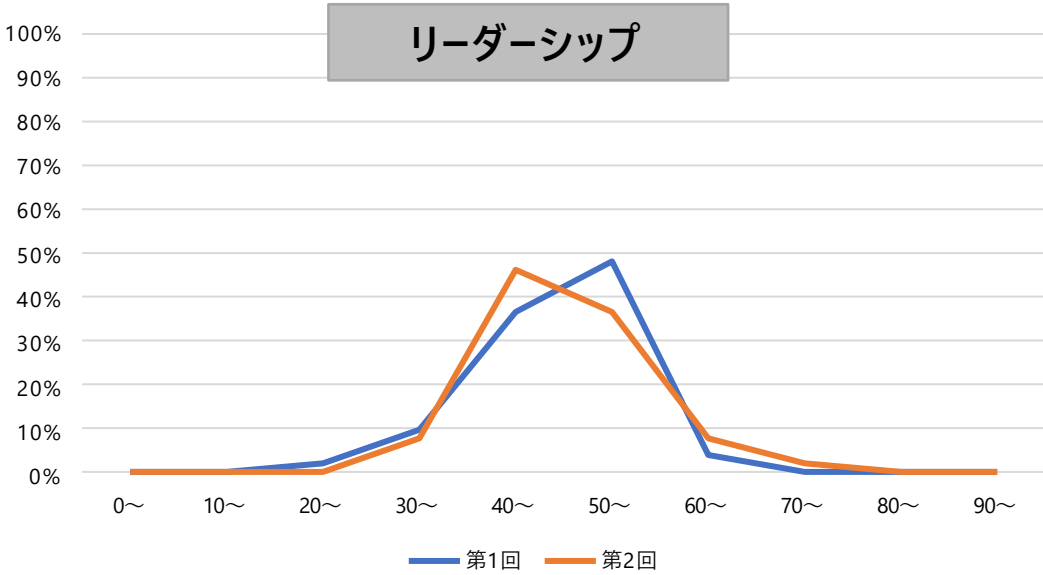
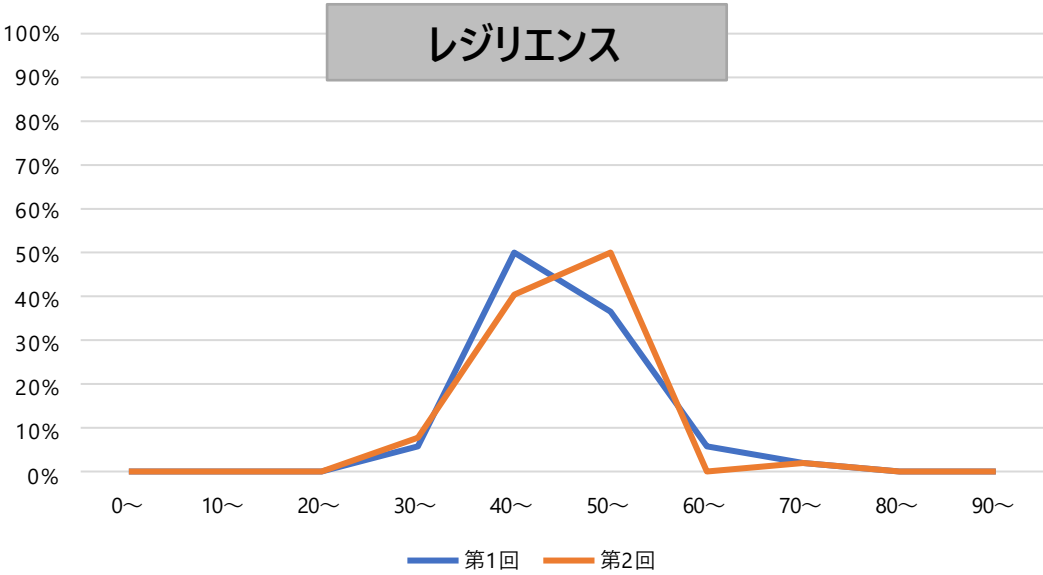


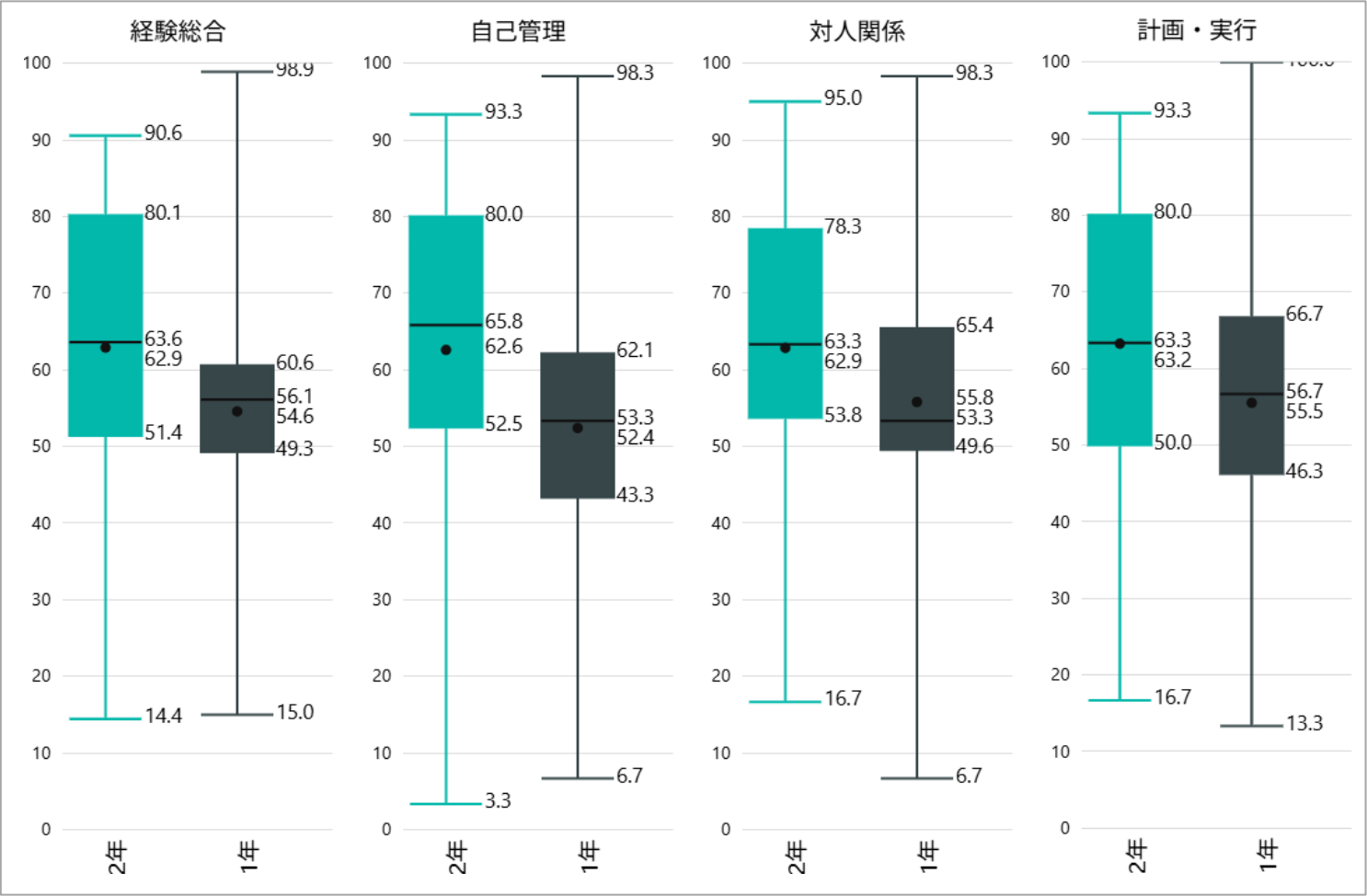
創造的思考力



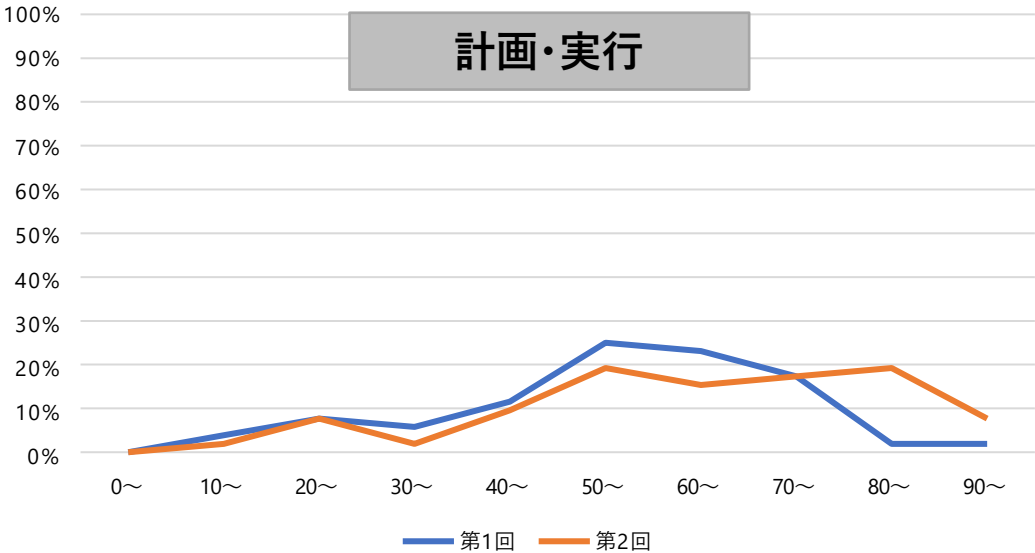
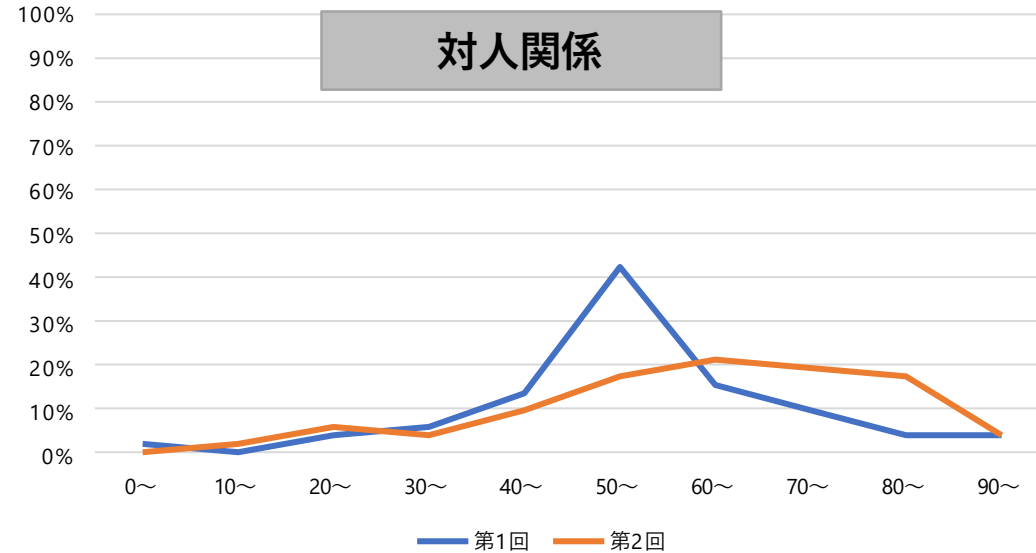
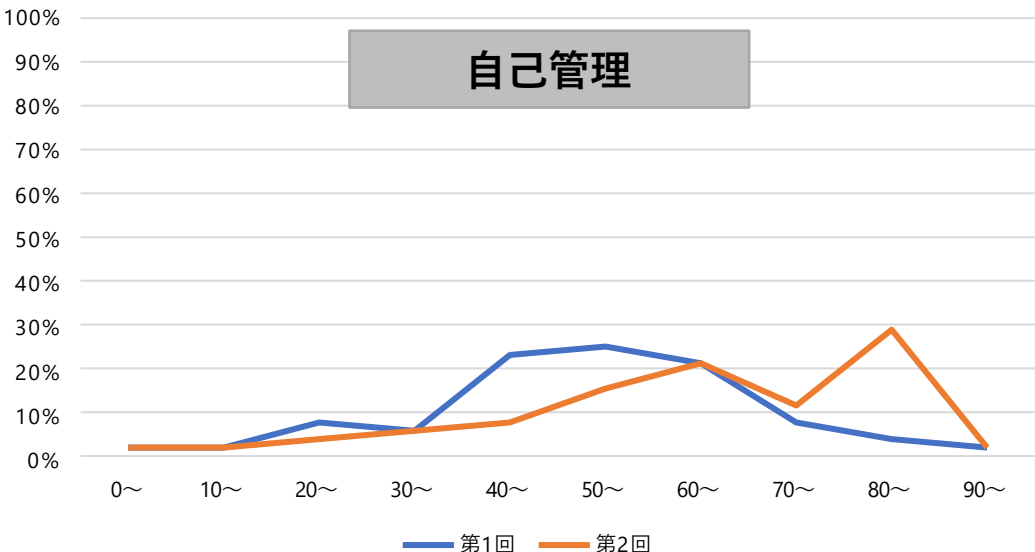
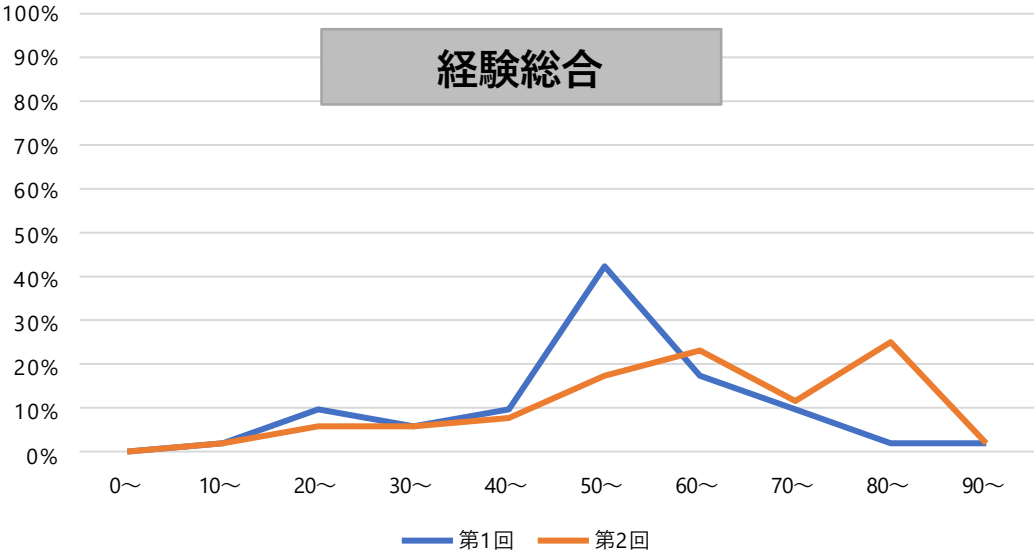


	「姿勢・態度」8つの測定項目	高い場合の傾向	低い場合の傾向
レジリエンス	感情の制御	・精神的にタフ ・穏やか	・繊細 ・気配りや敏感に反応できる面も
	立ち直りの早さ	・打たれ強い ・切り替えが早い	・落ち込みを引きずることもある
	状況に応じ冷静に対応する	・物事に動じない ・対応が柔軟	・周りに合わせて行動する
リーダーシップ	自ら先頭に立って進める	・自らの意志や考えを主張する ・指導性がある	・控えめ（慎ましい）
	未知のものに挑戦する	・達成意欲がある ・困難にチャレンジする	・あきらめがよい
	粘り強くやり抜く	・責任感が強い ・物事にこだわる	・こだわりがあまりない ・柔軟
コラボレーション	相手の立場に立とうとする	・他者への信頼感がある ・思いやりや優しさがある	・情に流されにくい
	他者と関わろうとする積極性	・明るく社会的 ・フットワークが軽い	・自分に関心が向きやすい





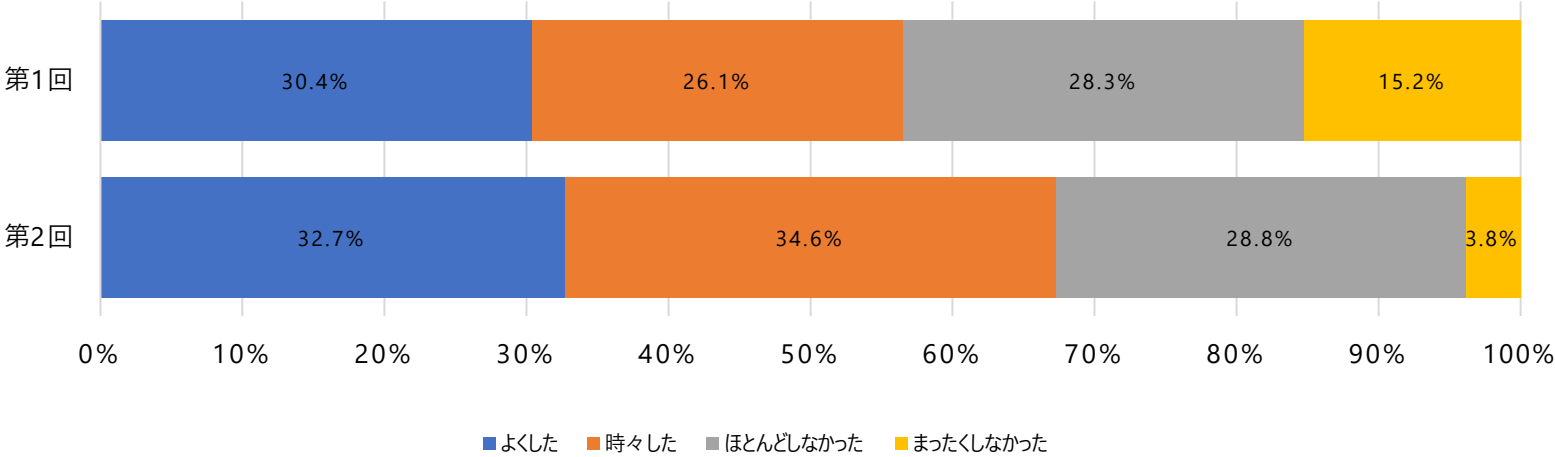
	「経験」9つの測定項目	代表的な質問項目
自己管理	挑戦する経験	難しいと思えることでも挑戦した
	続ける経験	自分の目標は達成するまでやりとげた
	ストレスに対処する経験	ストレスを感じたとき、その問題と向き合い克服した
対人関係	多様性を受容する経験	自分の価値観で良し悪しを決めず、相手の立場や体験を尊重した
	関係性を築く経験	チーム内でトラブルが起こったとき、自ら働きかけて問題を解決した
	議論する経験	議論（話し合い）の場では何が課題で何を解決すべきか明らかにするようにした
計画・実行	課題を設定する経験	良い評価（成績）を得られなかったとき、なぜその評価になったのかを考えた
	解決策を立案する経験	チーム活動などで計画を考える際、どのくらい効果的か予測しながら進めた
	実行・検証する経験	試験の結果が出たとき、結果の良し悪しだけでなく、どうすればさらに良くなるかを考えた



必要な予習や復習はしたうえで授業に臨む

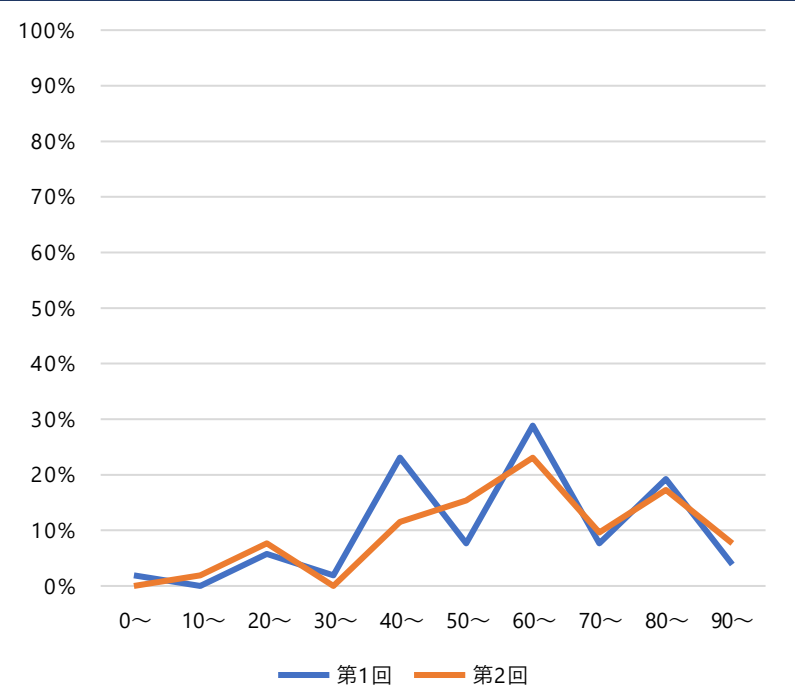
第1回
1年生受検時
(2024年)

第2回
2年生受検時
(2025年)

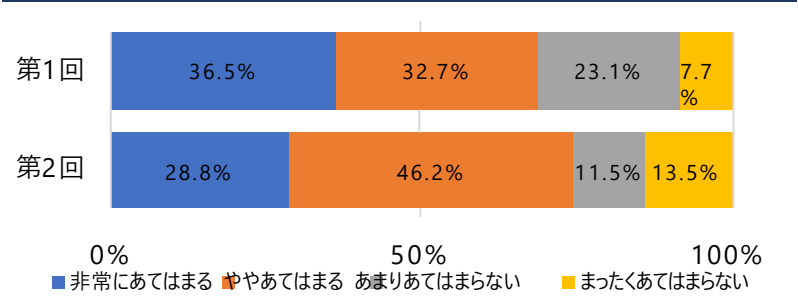


受検回	学びへの意欲
第1回	59.0
第2回	64.5
差分	+5.5

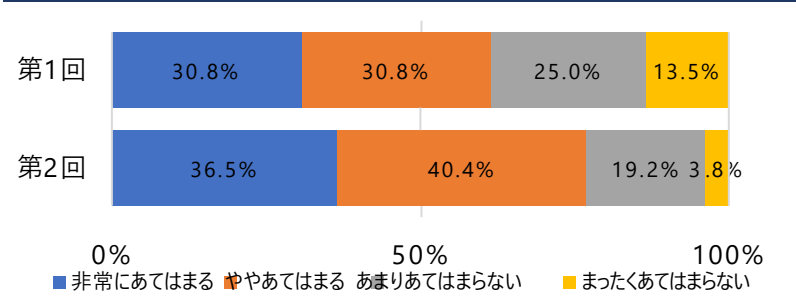
分布



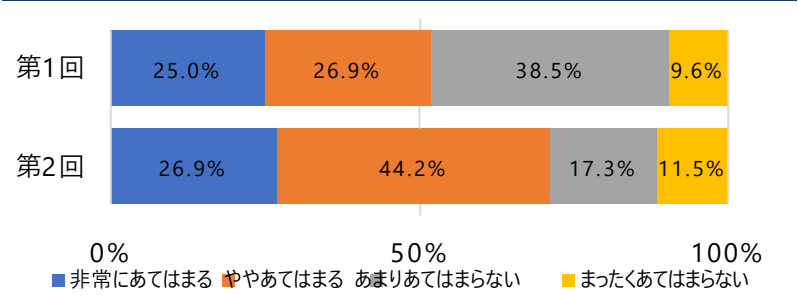
「正解」のない課題であっても、前向きに取り組もうとする



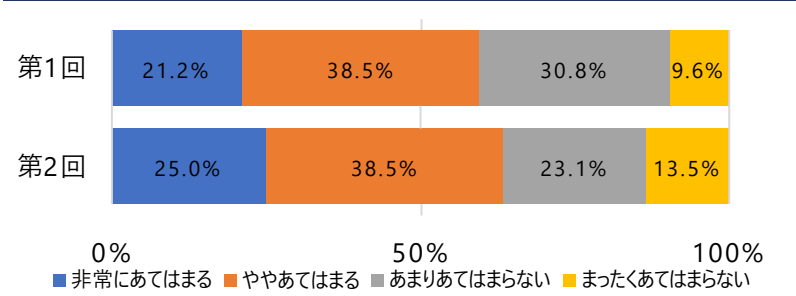
普段から自分なりの意見や視点を持つようとしている



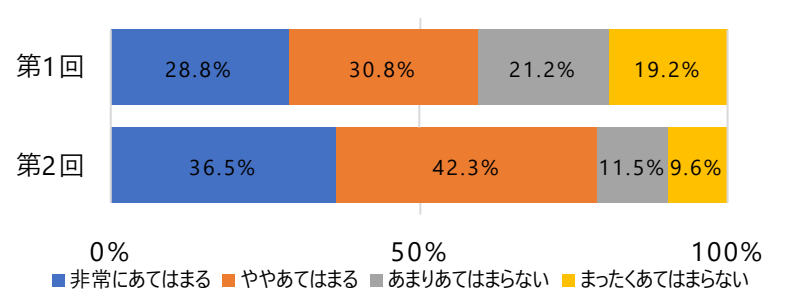
失敗しそうであっても、いろいろなことに挑戦してみたい



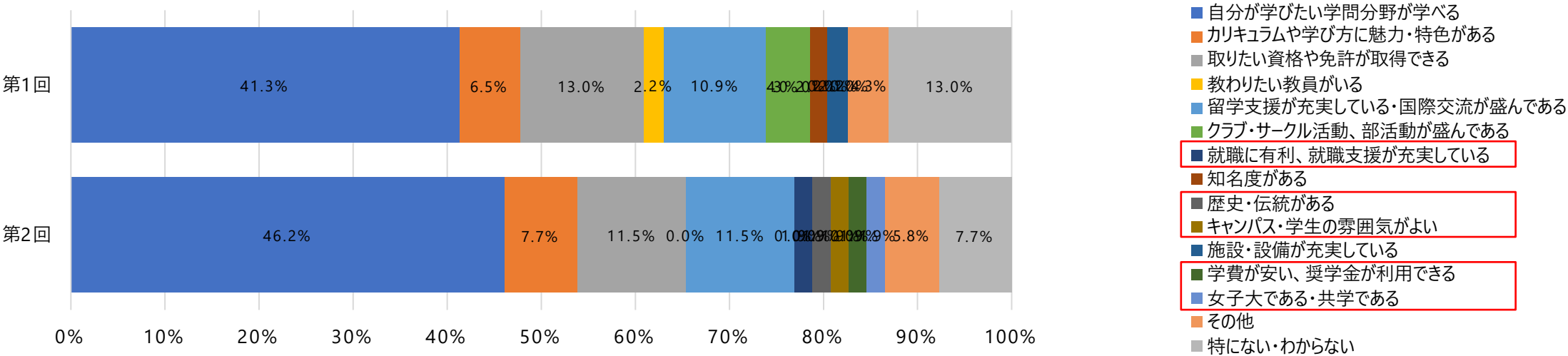
考え方や立場の異なるさまざまな人と交流したい



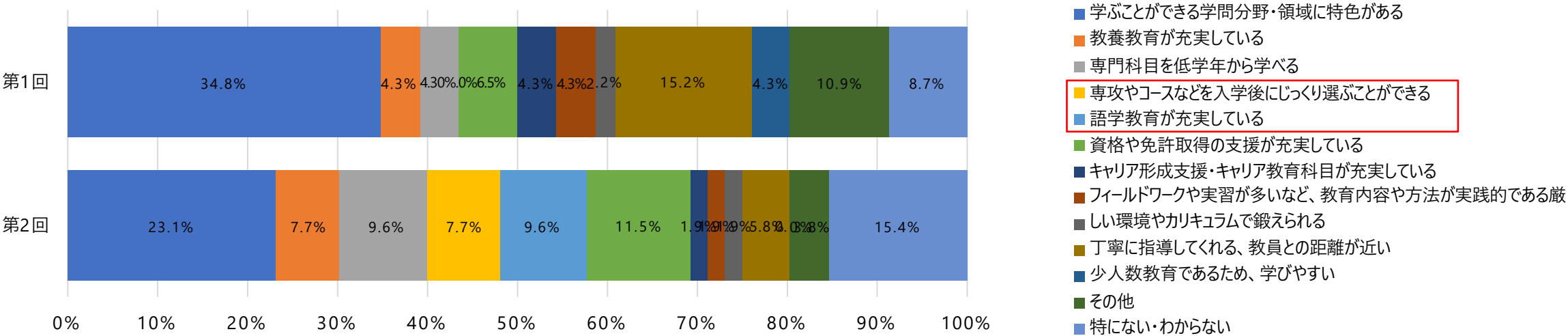
高い目標を持って学ぼうと思っている



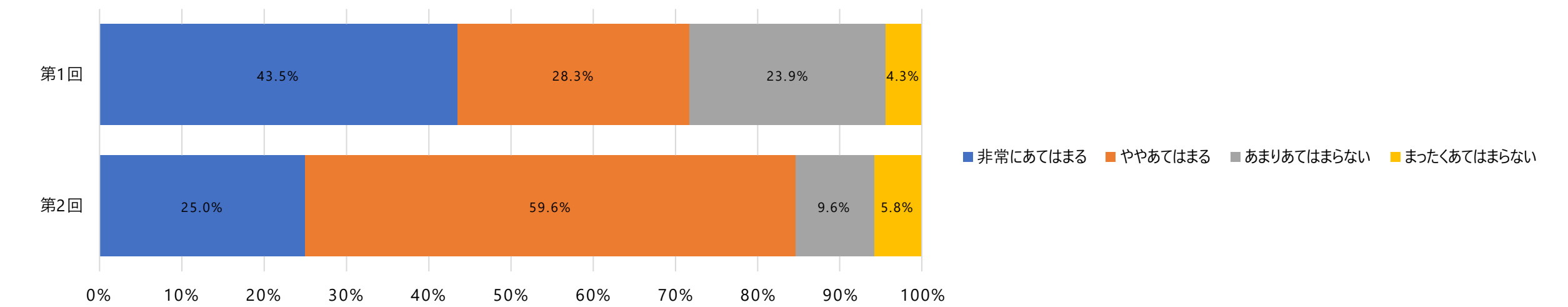
大学全体 1 位



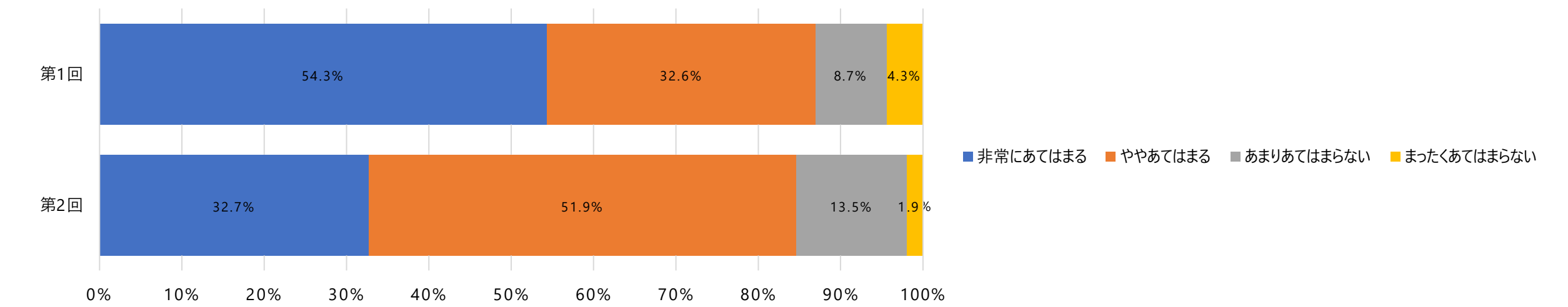
学問内容や学び方 1 位



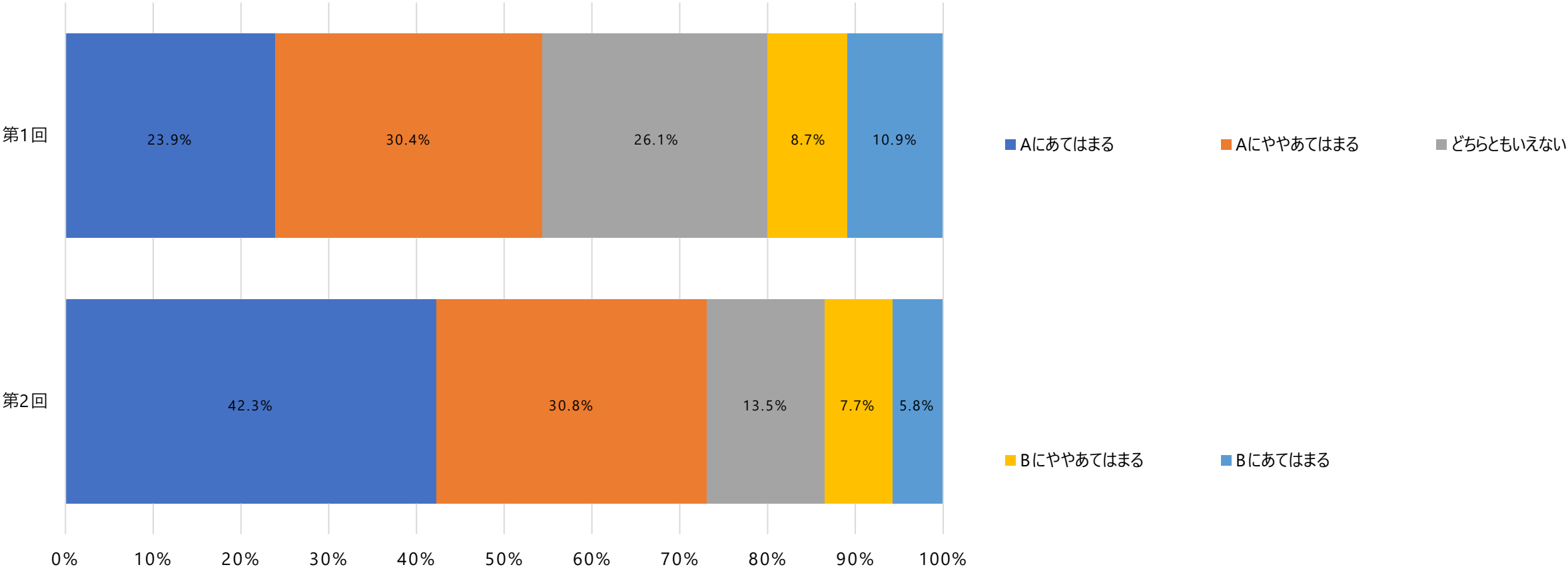
所属する学部・学科の教育目標（どのような人材の育成を目指しているか）を知っている



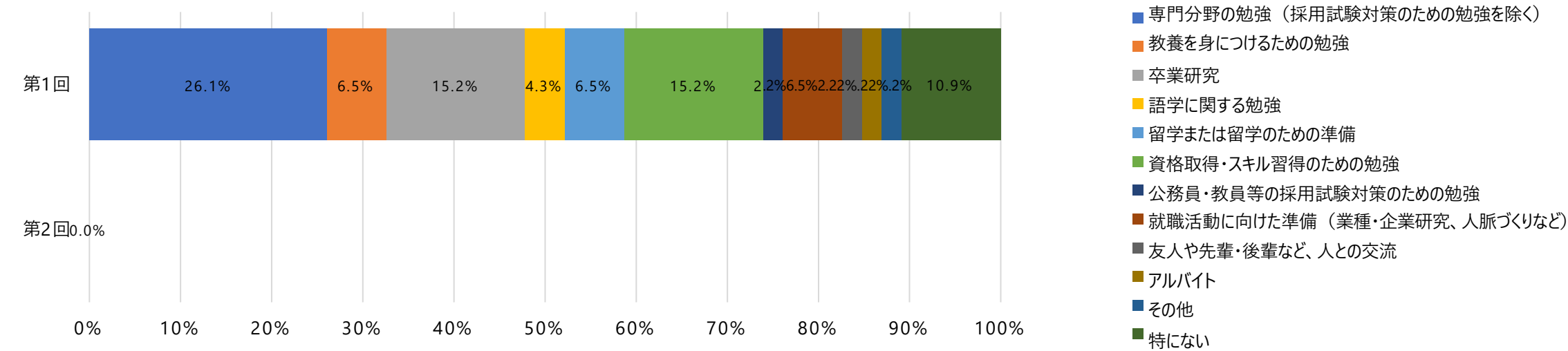
あなたが通う大学で、自分の将来に必要な学びを得ることができると思う



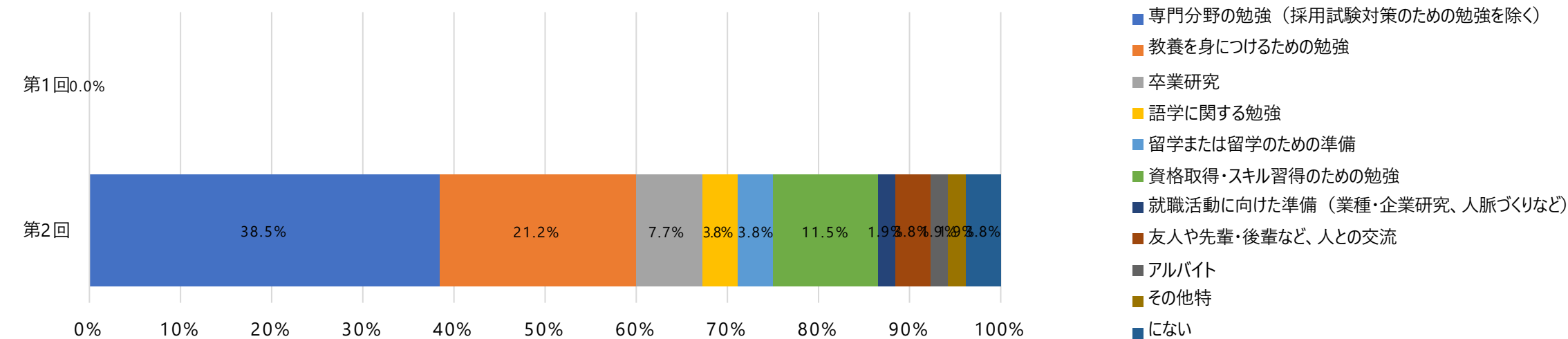
- A. あまり興味がなくとも、単位を楽に取れる授業がよい
- B. 単位を取るのが難しくても、自分の興味のある授業がよい



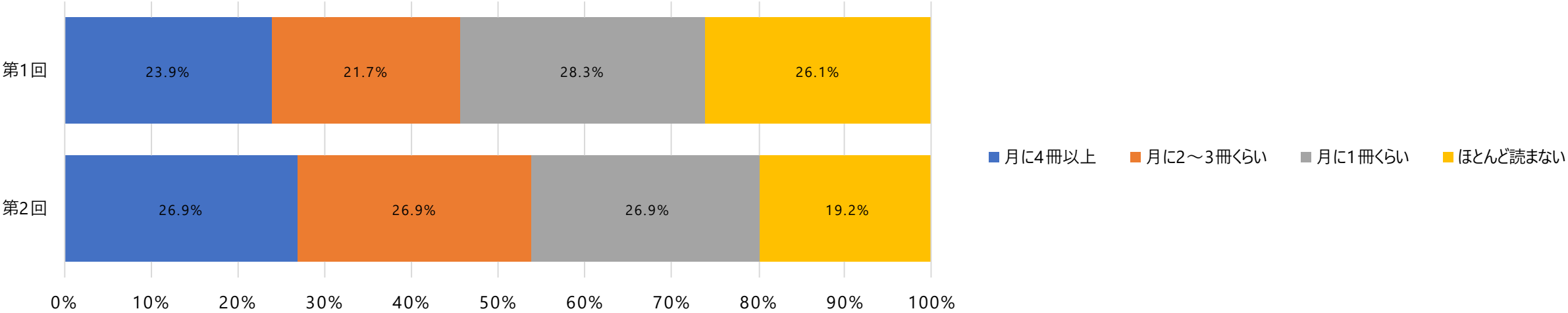
力を入れたいこと（新入生アンケート）



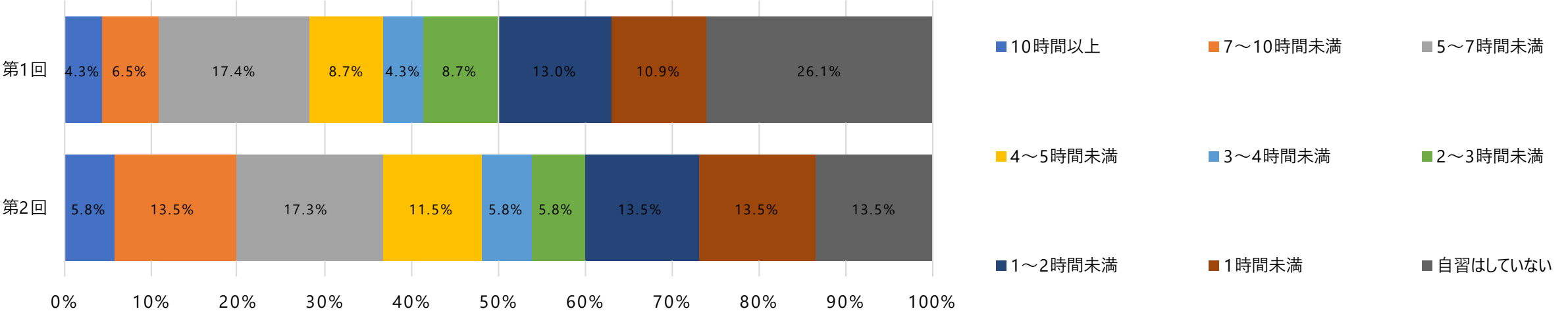
力を入れたこと（在校生アンケート）



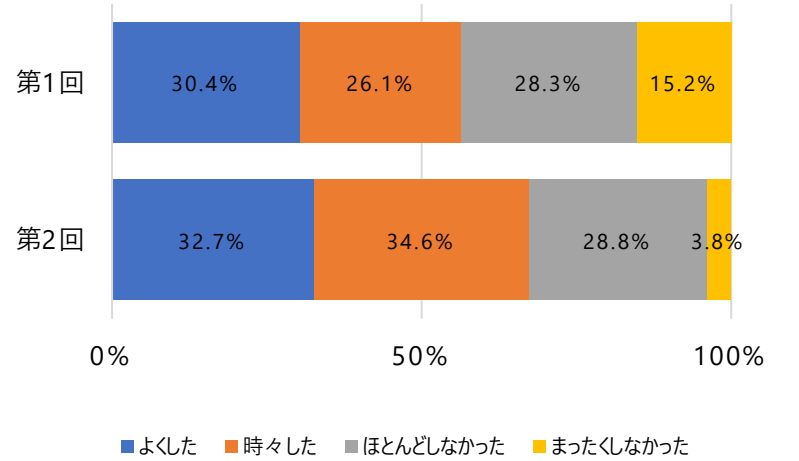
読書量



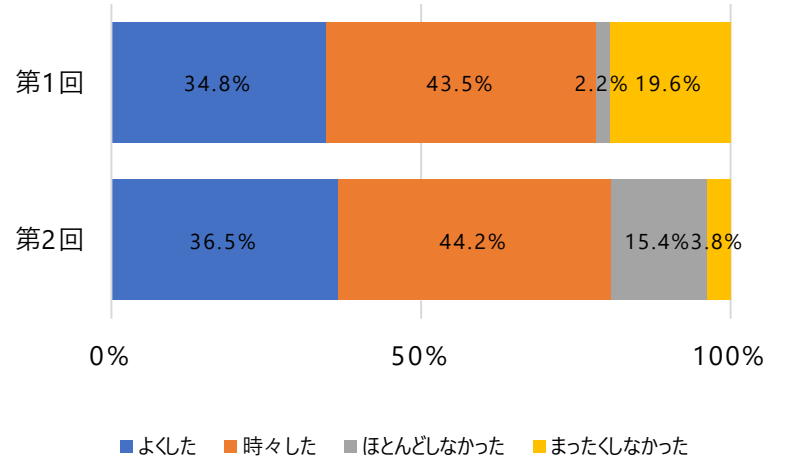
自習時間



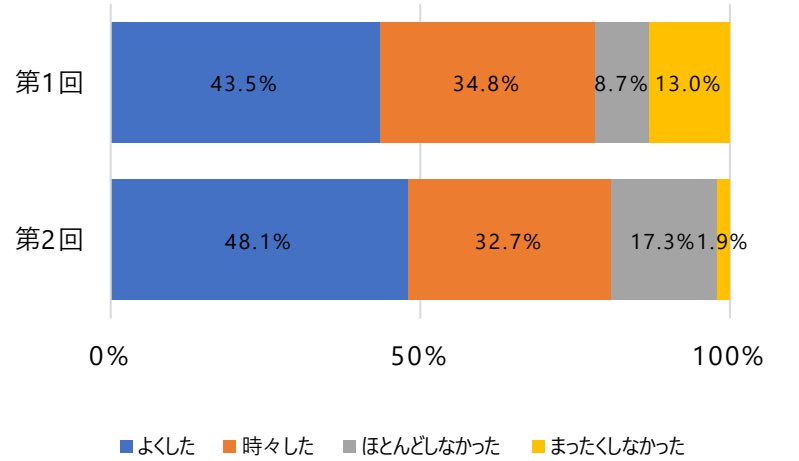
必要な予習や復習はしたうえで授業に臨む



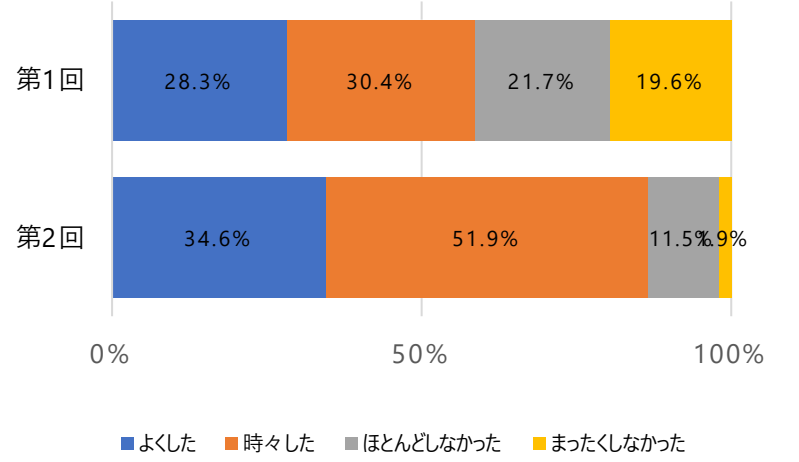
授業中、グループワークやディスカッションに積極的に参加する



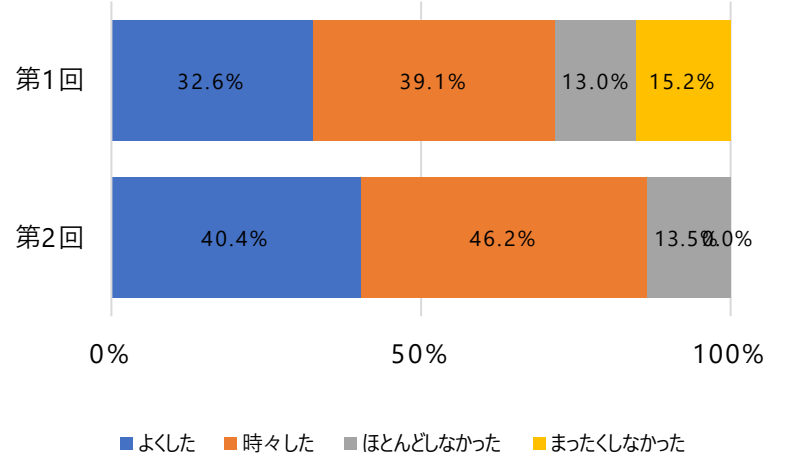
板書や投影資料以外でも大事なことはノートにとる



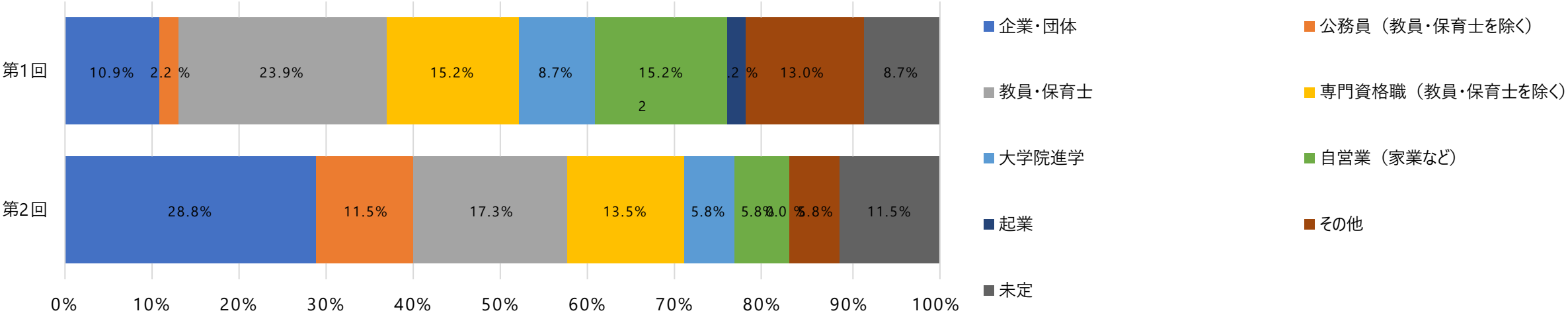
授業の内容でわからないことは教員に質問や相談に行く



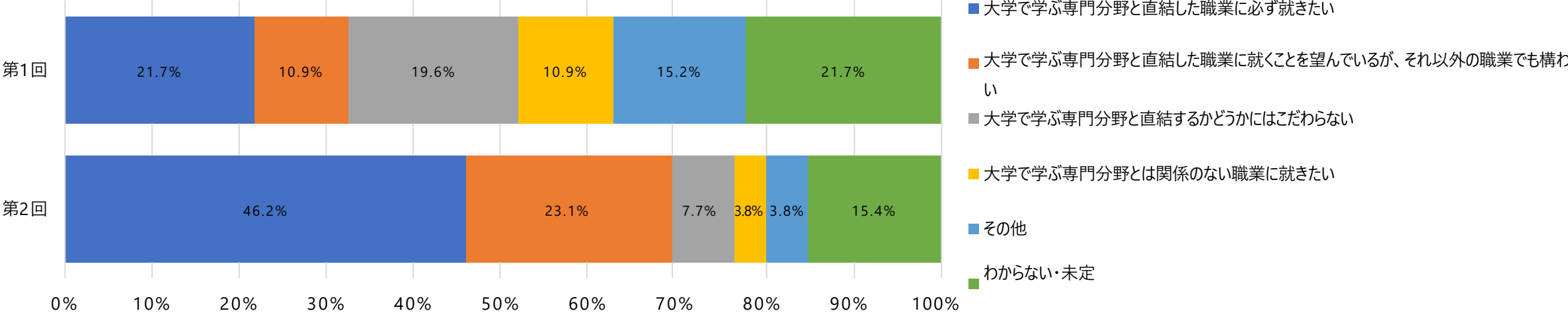
授業と関わりのないことでも、興味を持ったことについて自主的に学習する



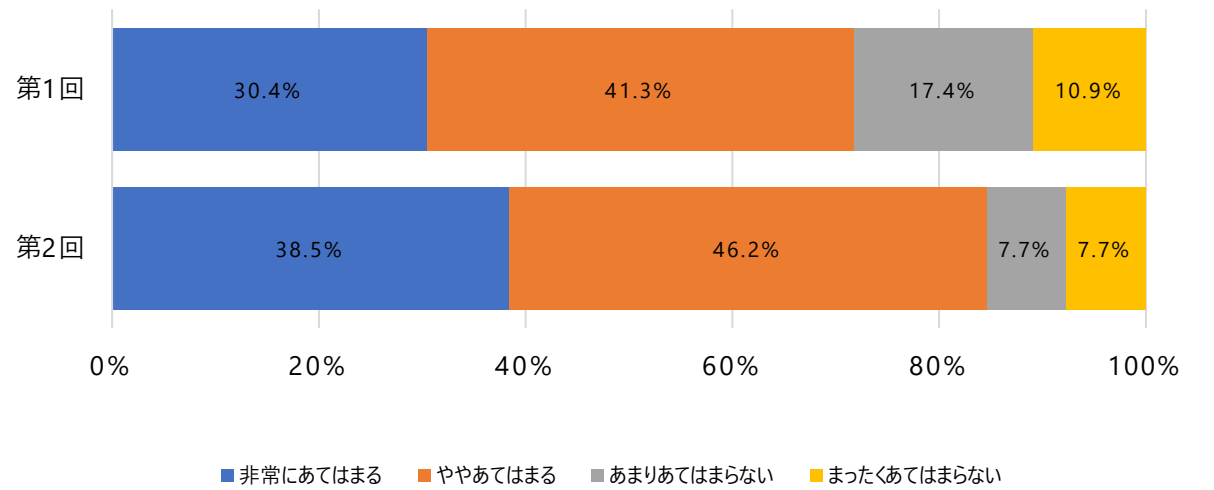
卒業後の希望進路



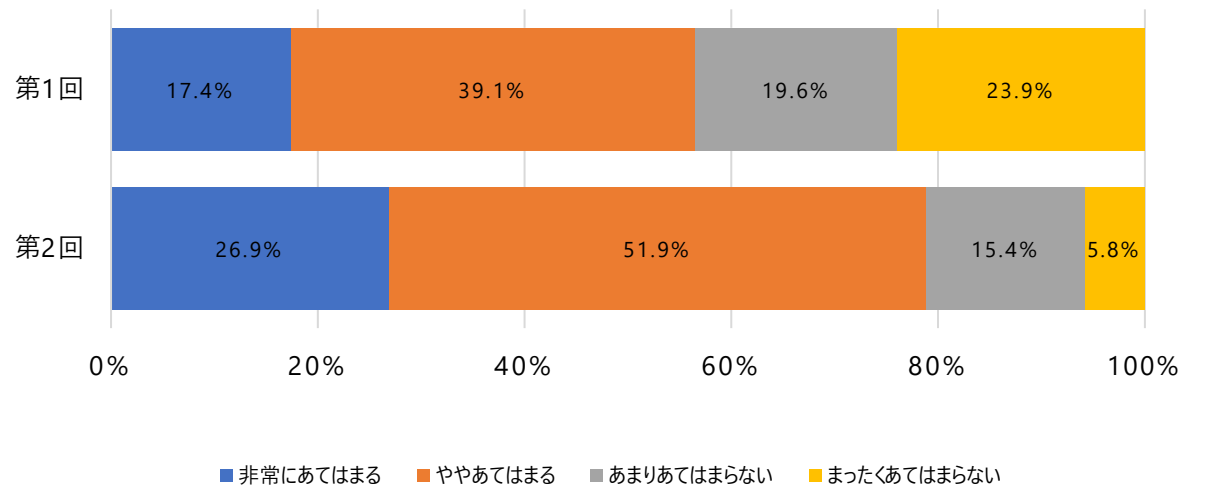
専門領域と希望進路との関係



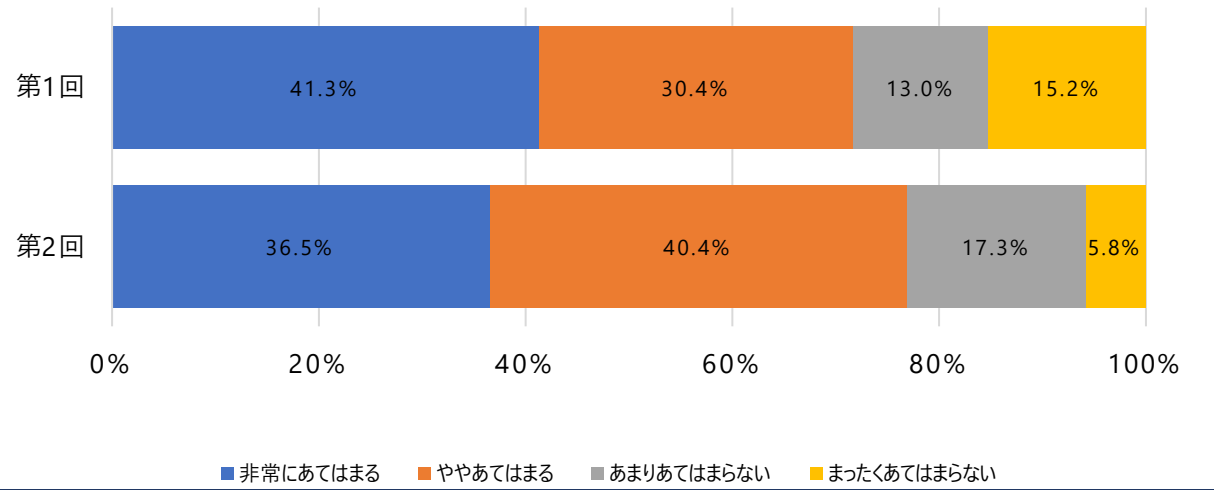
自分の性格や行動パターン、得意分野などを理解している



社会や職業のことを知るために、毎日、ニュースをチェックしている



自分が就きたい職業や仕事が明確になっている



自分の将来就きたい仕事、やりたいことに向けて準備をしている

